

調査結果報告書

<抜粋版>

一般高齢者実態調査	・ ・ ・ ・ ・	P 1
2号被保険者実態調査	・ ・ ・ ・ ・	P 2 3
要介護認定者実態調査(居宅用)	・ ・ ・ ・	P 3 7
要介護認定者実態調査(施設用)	・ ・ ・ ・	P 5 5
介護保険サービス提供事業者調査	・ ・ ・	P 6 4

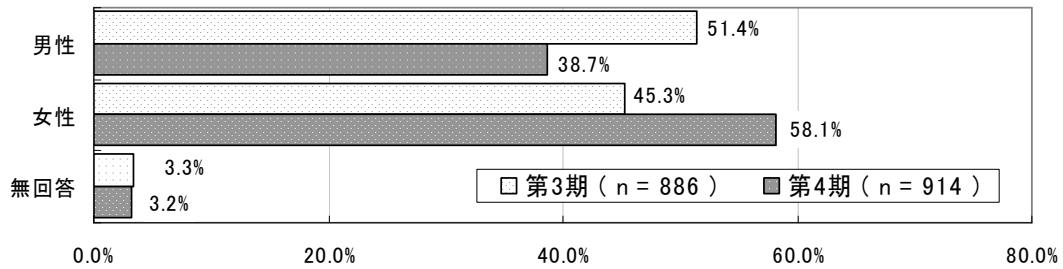
平成20年度

新居浜市

一般高齢者実態調査

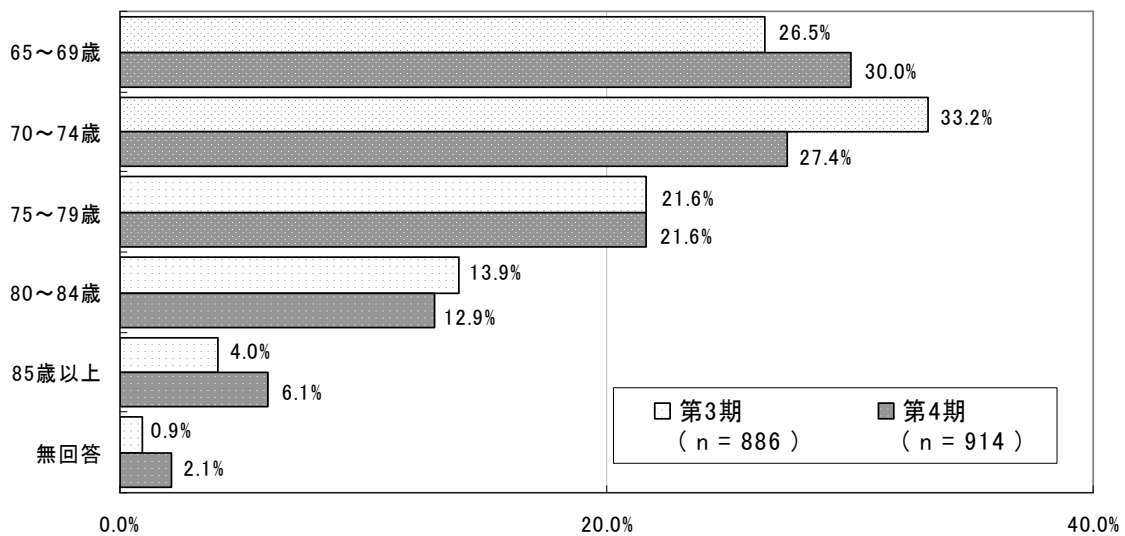
【性別】

調査対象者の性別をみると、第3期は「男性」51.4%、「女性」45.3%、第4期は「男性」38.7%、「女性」58.1%となっており、第3期は「男性」、第4期は「女性」の方が多くなっています。



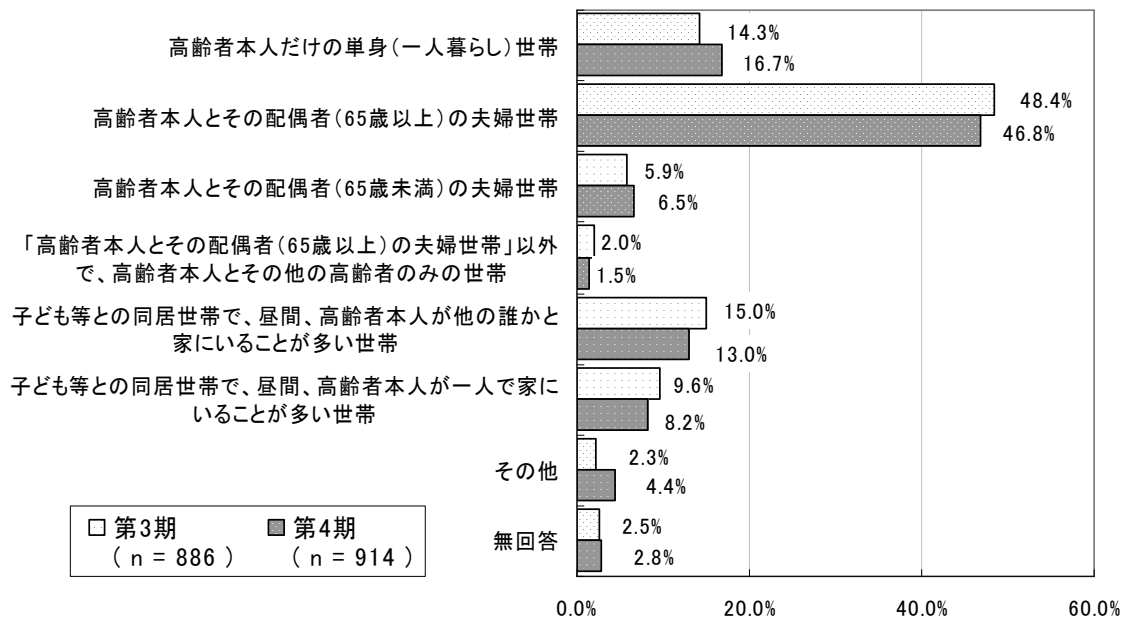
【年齢】

調査対象者の年齢をみると、第3期は「70～74歳」33.2%が最も多く、次いで、「65～69歳」26.5%、「75～79歳」21.6%の順となっています。第4期は「65～69歳」30.0%が最も多く、次いで、「70～74歳」27.4%、「75～79歳」21.6%の順となっており、第3期と比べると第4期は高齢になるにつれて少なくなっています。



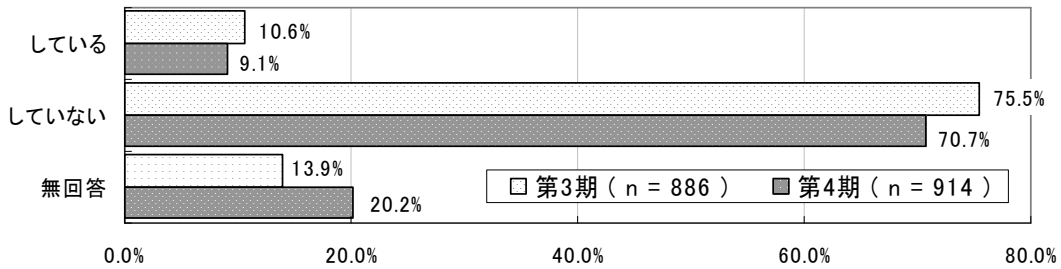
【家族構成】

家族構成をみると、第3期・第4期ともに「高齢者とその配偶者(65歳以上)の夫婦世帯」と答えた方が最も多くなっており、次いで、第3期は「子ども等との同居世帯で、昼間、高齢者本人が他の誰かと家にいることが多い世帯」15.0%、「高齢者本人だけの単身(一人暮らし)世帯」14.3%の順となっています。第4期は、「高齢者本人だけの単身(一人暮らし)世帯」16.7%、「子ども等との同居世帯で、昼間、高齢者本人が他の誰かと家にいることが多い世帯」13.0%の順となっており、第3期と比べると「高齢者本人だけの単身(一人暮らし)世帯」と答えた方が増えていることがわかります。



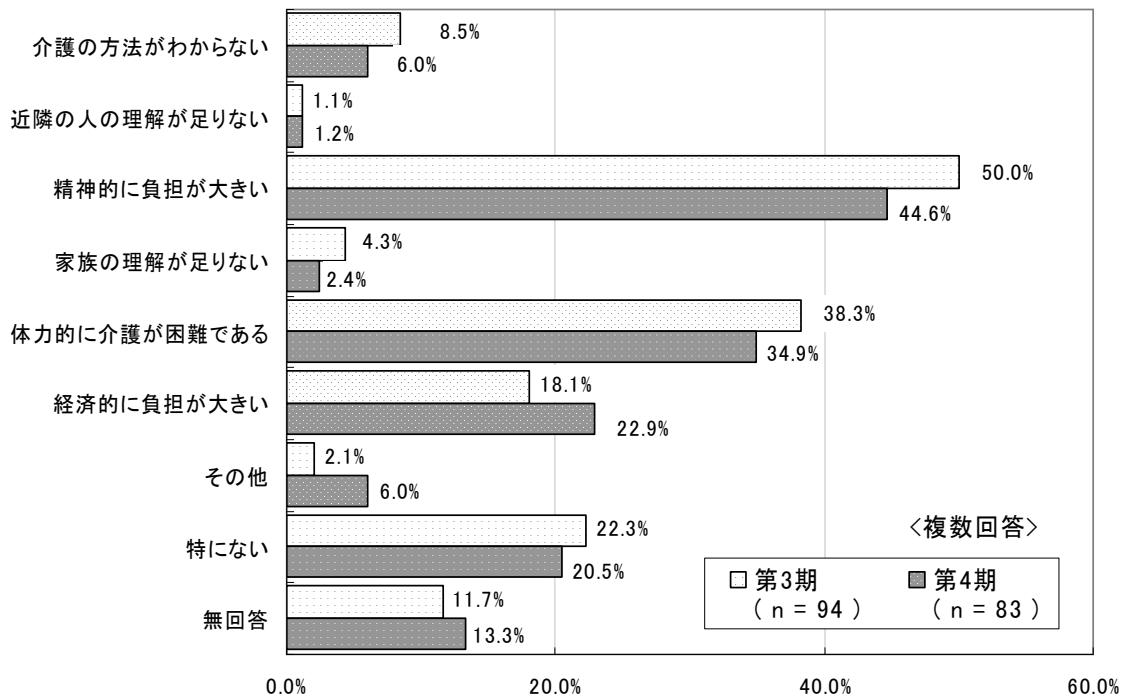
【ご家族の介護について】

ご家族の介護についてみると、第3期は「していない」75.5%、「している」10.6%となっています。第4期は「していない」70.7%、「している」9.1%となっています。



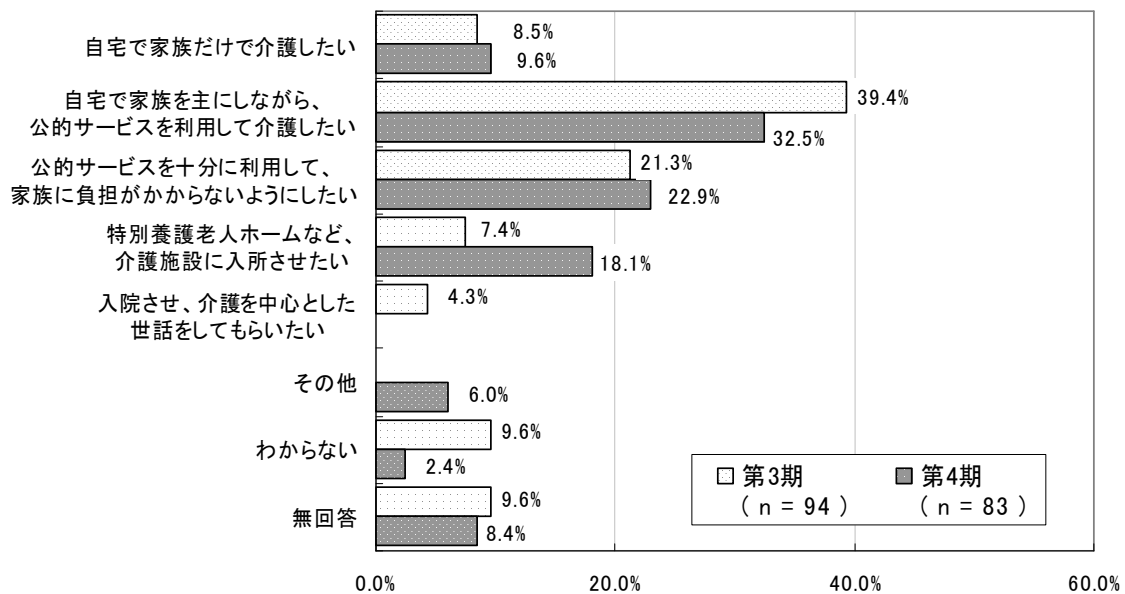
【介護を行う上で困っていることについて】

「ご家族の介護をしている」と答えた方に、介護を行う上で困っていることをたずねると、第3期・第4期ともに「精神的に負担が大きい」と答えた方が最も多くなっています。次いで、「体力的に介護が困難である」「経済的に負担が大きい」「特にない」と答えた方が多くなっています。また、「精神的に負担が大きい」「体力的に介護が困難である」と答えた方は第3期の方が多くなっていますが、「経済的に負担が大きい」と答えた方は第4期の方が多くなっていることから、年々介護にかかる金銭的負担が重くなっていると考えられます。



【今後の介護方法について】

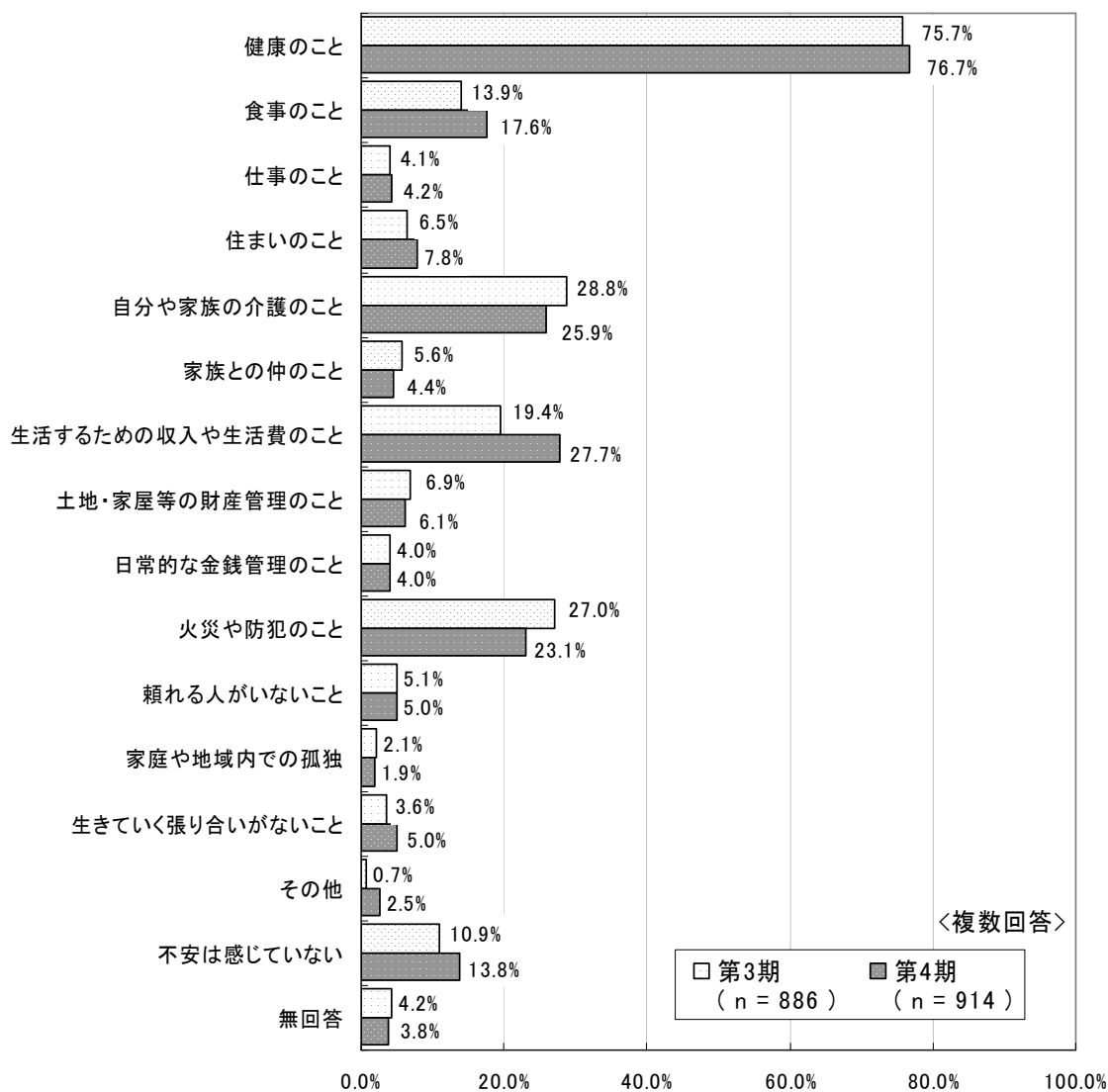
「家族の介護をしている」と答えた方に、今後の介護方法についてたずねると、第3期は「自宅で家族を主にしながら、公的サービスを利用して介護したい」39.4%と答えた方が最も多くなっており、次いで、「公的サービスを十分に利用して家族に負担がかからないようにしたい」21.3%、「自宅で家族だけで介護したい」8.5%の順となっています。第4期は「自宅で家族を主にしながら、公的サービスを利用して介護したい」32.5%と答えた方が最も多くなっており、次いで、「公的サービスを十分に利用して、家族に負担がかからないようにしたい」22.9%、「特別養護老人ホームなど、介護施設に入所させたい」18.1%の順となっており、第3期と比べると施設入所の希望が多くなっていることがわかります。



※「入院させ、介護を中心とした世話をしてもらいたい」の項目は第3期の調査のみ。

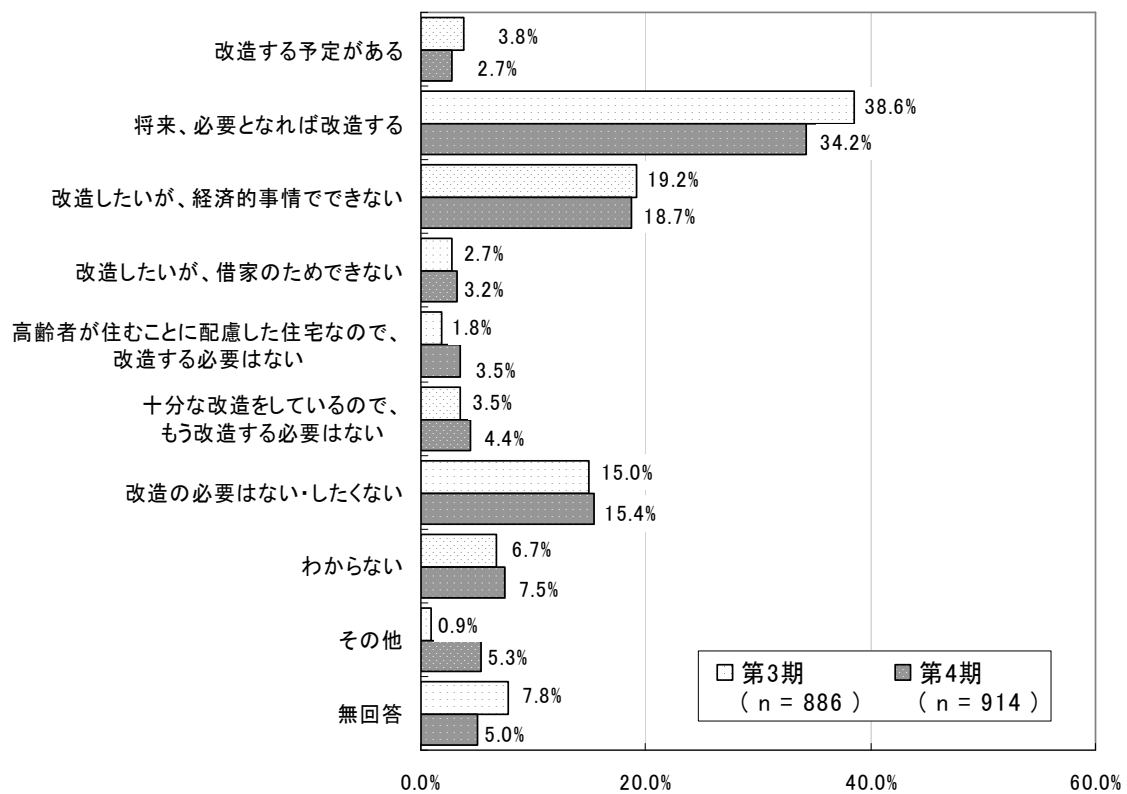
【日常生活の不安について】

日常生活全般を通して不安に感じていることについてたずねると、第3期・第4期ともに「健康のこと」と答えた方が最も多く7割を超えています。次いで、第3期は「自分や家族の介護のこと」28.8%、「火災や防犯のこと」27.0%の順、第4期は「生活するための収入や生活費のこと」27.7%、「自分や家族の介護のこと」25.9%の順となっており、第3期に比べると経済的に負担が重くなっていると考えられます。



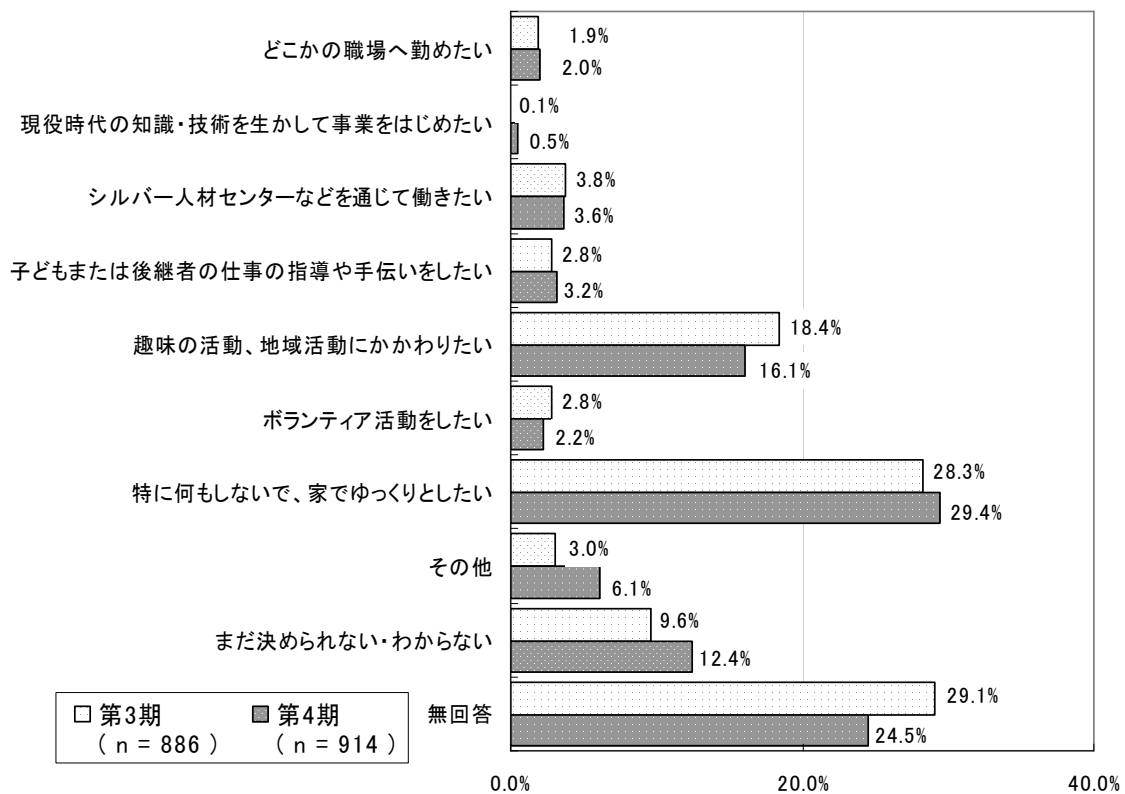
【今後、住宅を改造する予定や必要性について】

これからも現在の住宅に住み続けるために、今の住宅を改造する予定や必要性の有無をたずねると、第3期・第4期ともに「将来、必要となれば改造する」と答えた方が最も多く3割を超えています。次いで、「改造したいが、経済的事情でできない」「改造の必要はない・したくない」がそれぞれ約2割となっています。



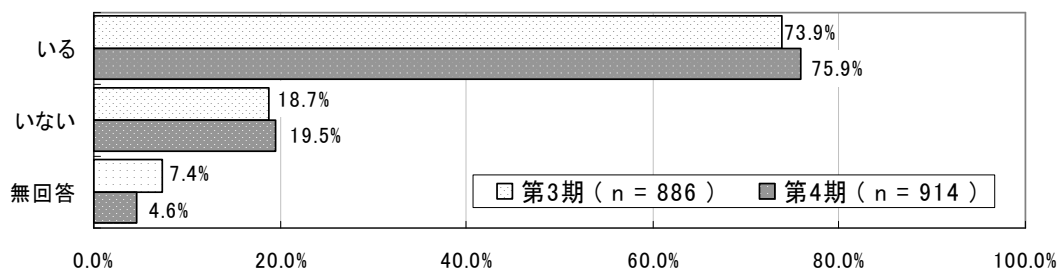
【今後の就労意向について】

仕事をしている方は現在の仕事をやめたあと、仕事をしていない方は今後どのようにしたいか就労意向をたずねると、第3期・第4期ともに「特に何もしないで、家でゆっくりとしたい」と答えた方が最も多く約3割となっています。次いで、「趣味の活動、地域活動にかかわりたい」「まだ決められない・わからない」の順となっています。



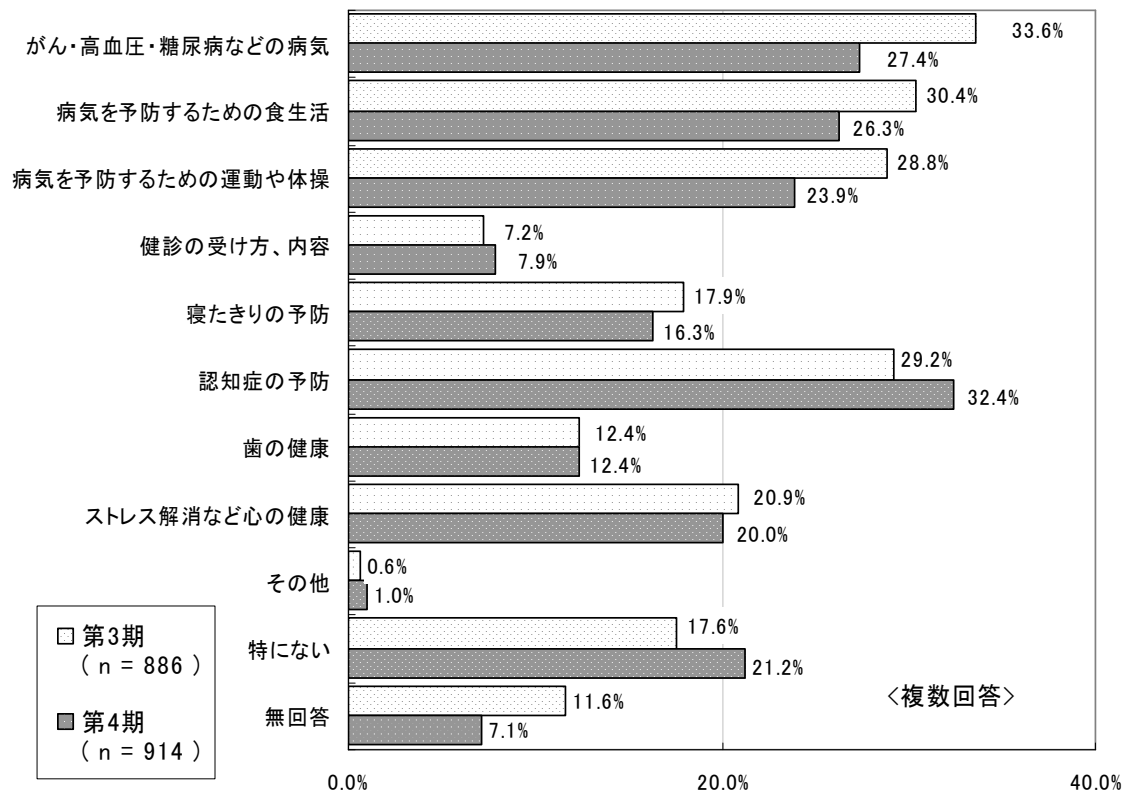
【かかりつけ医について】

気軽に診療や健康の相談ができる「かかりつけ医(病院・診療所)」の有無をたずねると、第3期・第4期ともに「いる」と答えた方が7割を超えています。



【健康について知りたいこと】

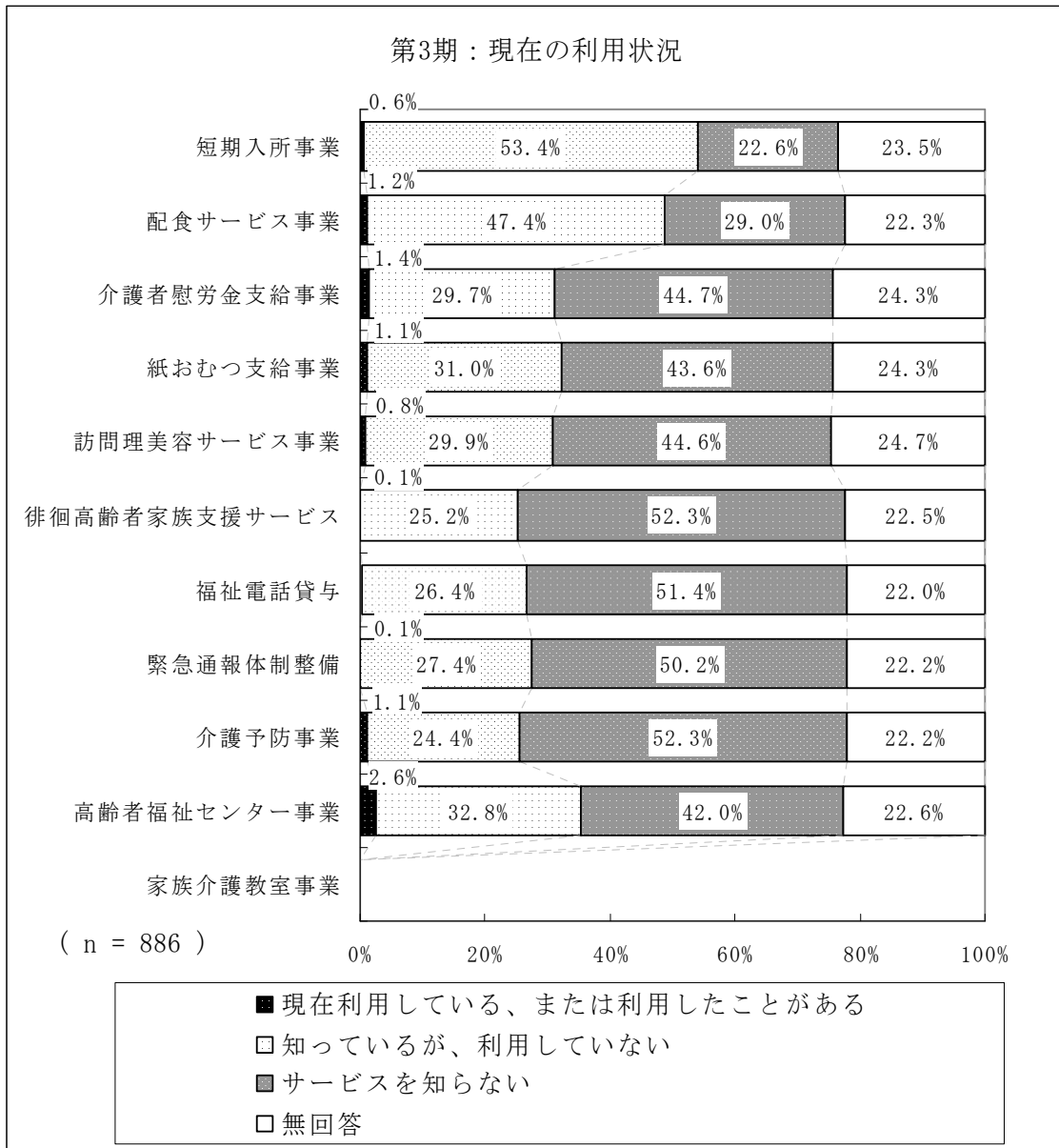
健康について知りたいことをたずねると、第3期は「がん・高血圧・糖尿病などの病気」33.6%が最も多くなっており、次いで、「病気を予防するための食生活」30.4%、「認知症の予防」29.2%の順となっています。第4期は「認知症の予防」32.4%が最も多くなっており、「がん・高血圧・糖尿病などの病気」27.4%、「病気を予防するための食生活」26.3%の順となっています。第3期と比べると、全体的に割合が減っている中、「認知症の予防」と答えた方が特に多くなっていることがわかります。



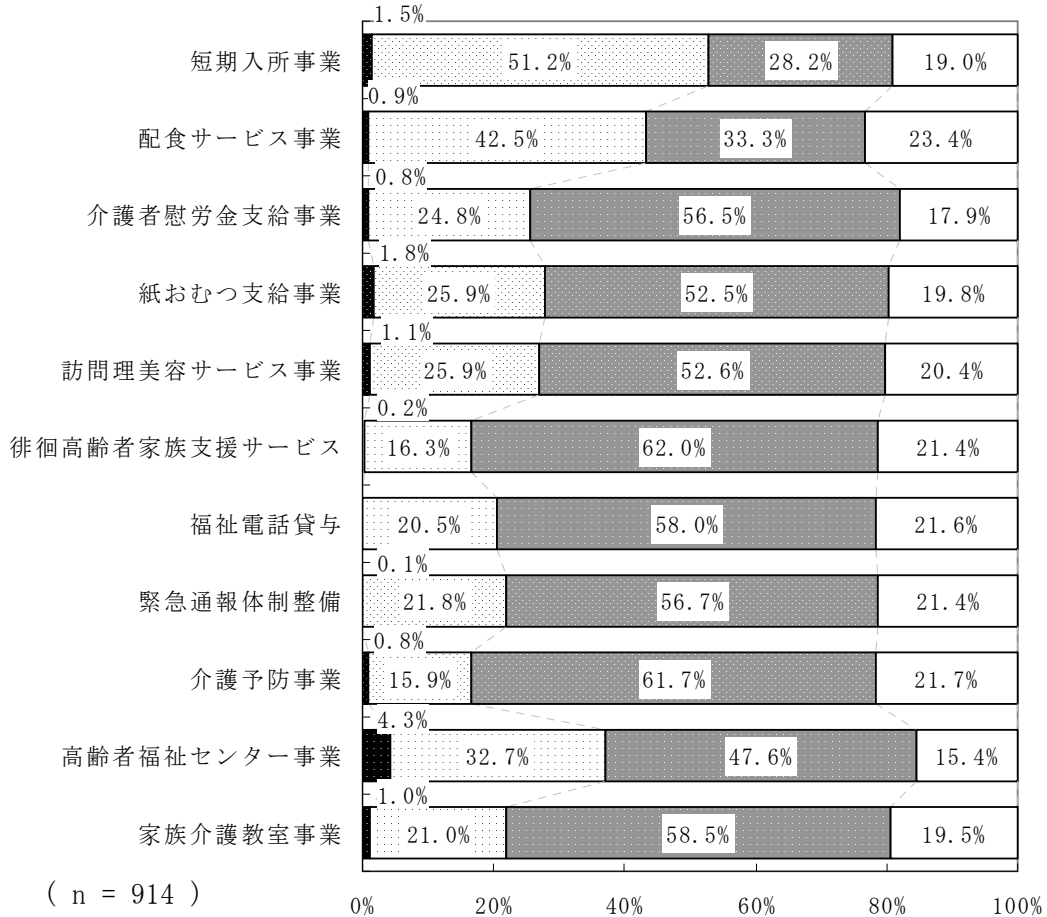
【福祉サービスについて】

・ 現在の利用について

福祉サービスについて現在(この1年程度)の利用状況を見ると、全体的に「サービスを知らない」と答えた方が多いことから各種サービスの周知を図る必要が見受けられます。



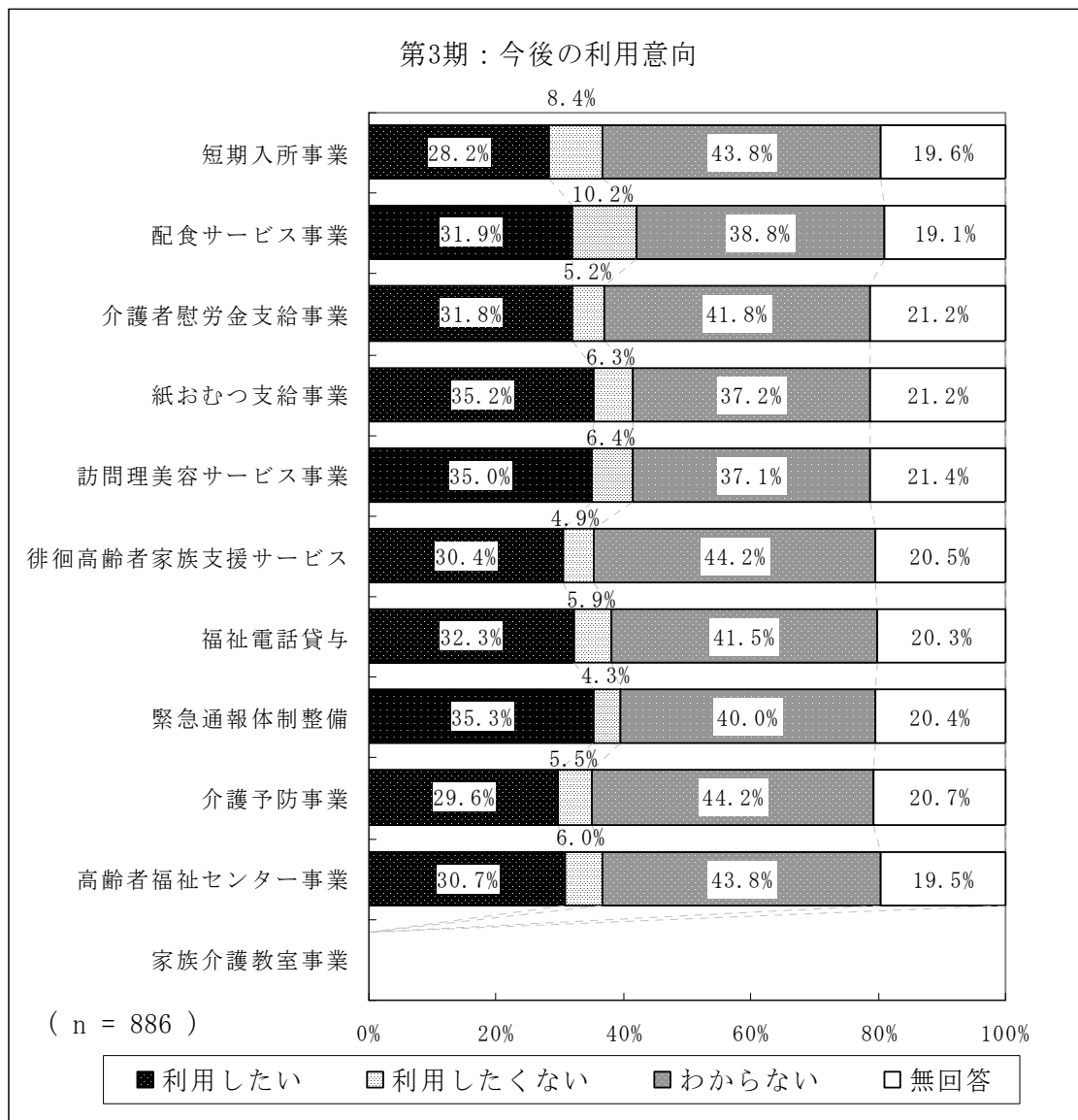
第4期：現在の利用状況



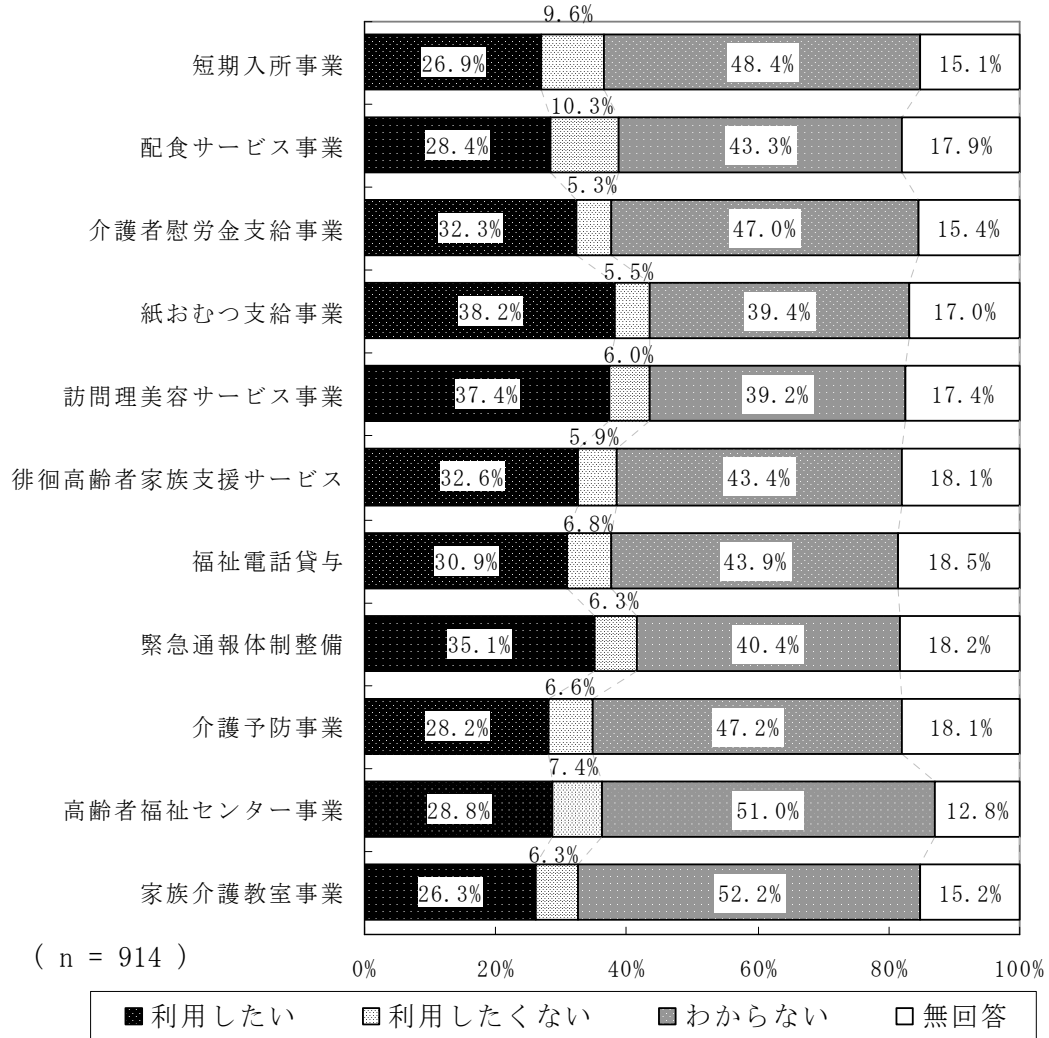
- 現在利用している、または利用したことがある
- ▨ 知っているが、利用していない
- サービスを知らない
- 無回答

・今後の利用意向

福祉サービスについて今後の利用意向をみると、第3期から第4期にかけて全体的に大きな変化は見られないものの、「紙おむつ支給事業」「訪問理美容サービス事業」においては「利用したい」と答えた方が他の項目と比べて多くなっていることが見受けられます。

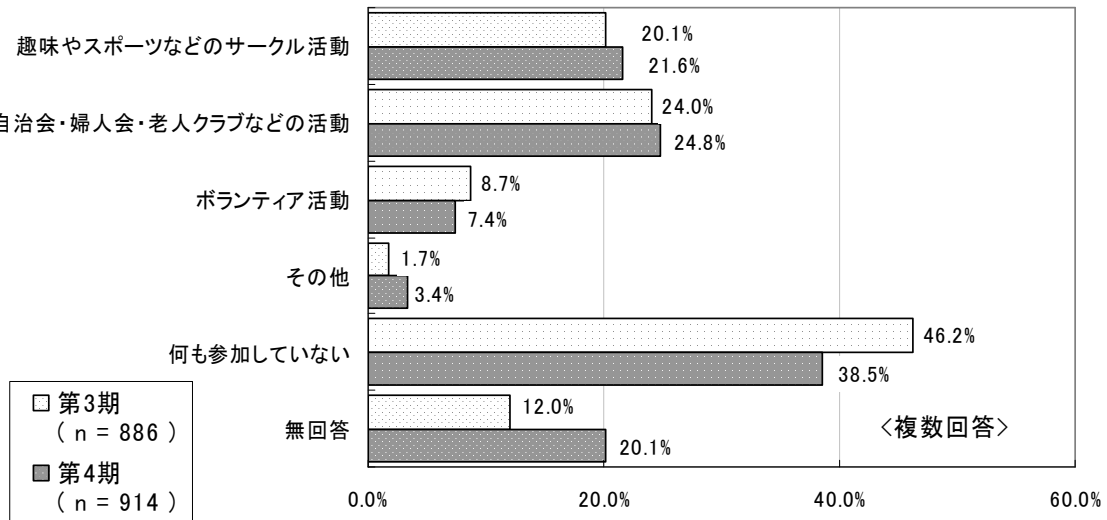


第4期：今後の利用意向



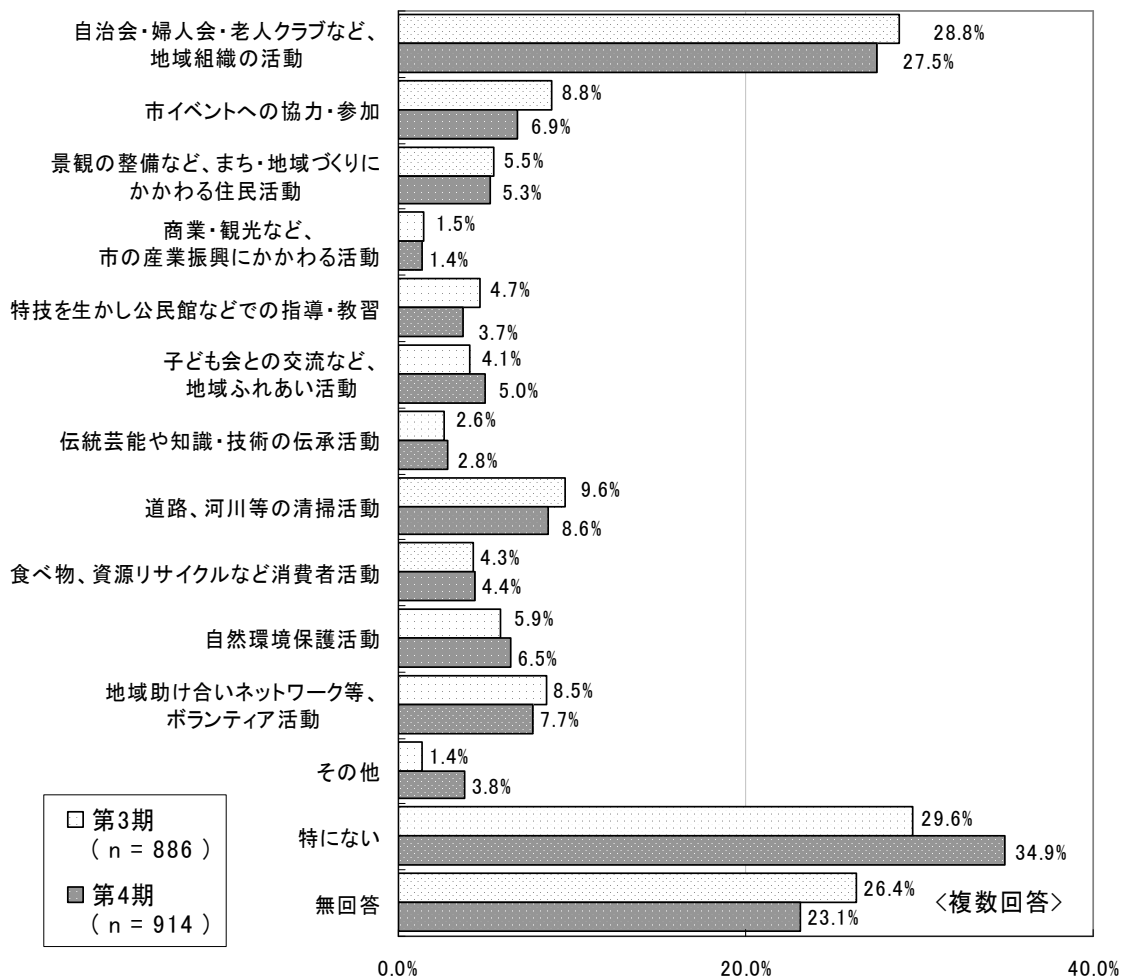
【地域活動への参加について】

地域活動への参加についてたずねると、第3期・第4期ともに「何も参加していない」と答えた方が約4割と最も多くなっています。次いで、「自治会・婦人会・老人クラブなどの活動」「趣味やスポーツなどのサークル活動」の順となっており、第3期と比べると活動に参加している方が増加傾向となっていることがわかります。



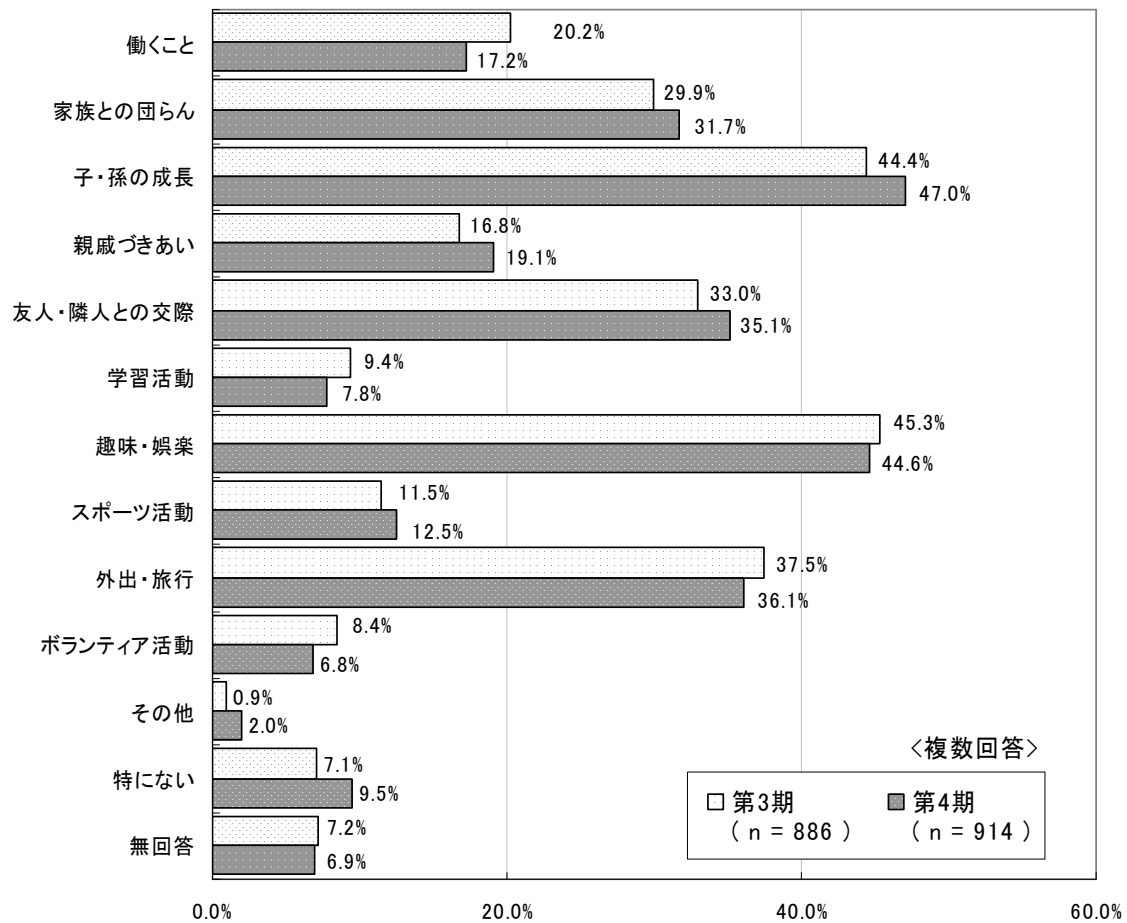
【今後も続けたい活動・参加したい活動について】

現在参加しており今後も続けたい活動や、今後新たに参加したい活動についてたずねると、第3期・第4期ともに「自治会・婦人会・老人クラブなど、地域組織の活動」と答えた方が約3割と最も多くなっています。次いで、第3期は「道路、河川等の清掃活動」9.6%、「市イベントへの協力・参加」8.8%の順となっています。第4期は「道路、河川等の清掃活動」8.6%、「地域助け合いネットワーク等、ボランティア活動」7.7%の順となっています。



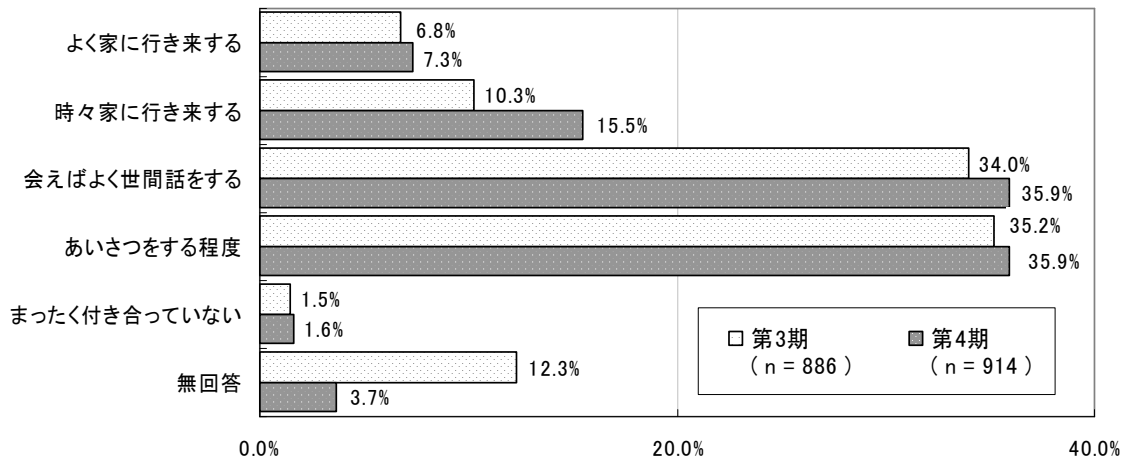
【生きがいを感じることにについて】

生きがいを感じることをたずねると、第3期は「趣味・娯楽」45.3%と答えた方が最も多く、次いで「子・孫の成長」44.4%、「外出・旅行」37.5%の順となっています。第4期は「子・孫の成長」47.0%が最も多く、次いで、「趣味・娯楽」44.6%、「外出・旅行」36.1%の順となっており、どの項目においても第3期と同様の傾向が見受けられます。



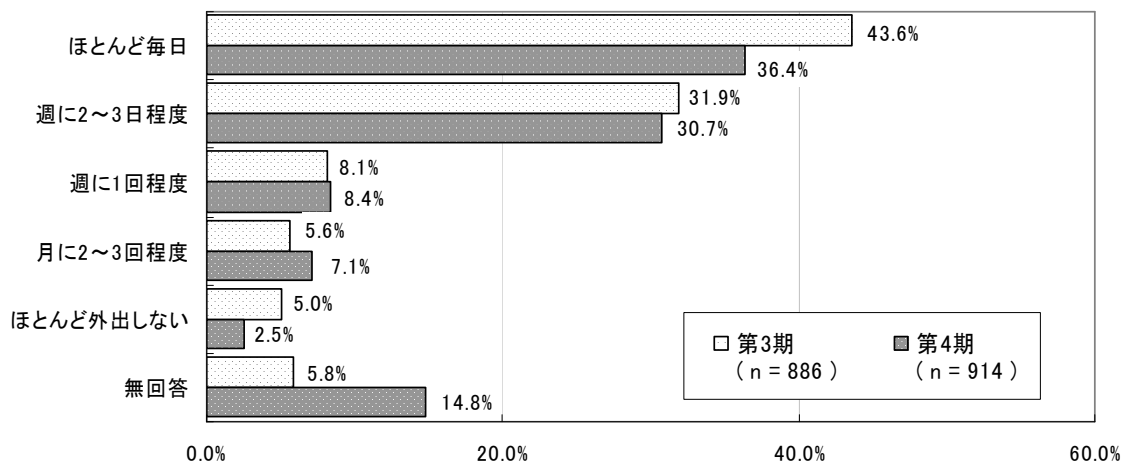
【近所づきあいについて】

近所づきあいの程度をたずねると、第3期は「あいさつをする程度」35.2%と答えた方が最も多くなっており、次いで、「会えばよく世間話をする」34.0%、「時々家に行き来する」10.3%の順となっており、第4期は「会えばよく世間話をする」「あいさつをする程度」と答えた方がともに35.9%と最も多くなっています。また、「よく家に行き来する」「時々家に行き来する」と答えた方が若干増えていることから、第3期と比べると地域での交流が図られるようになったと考えられます。



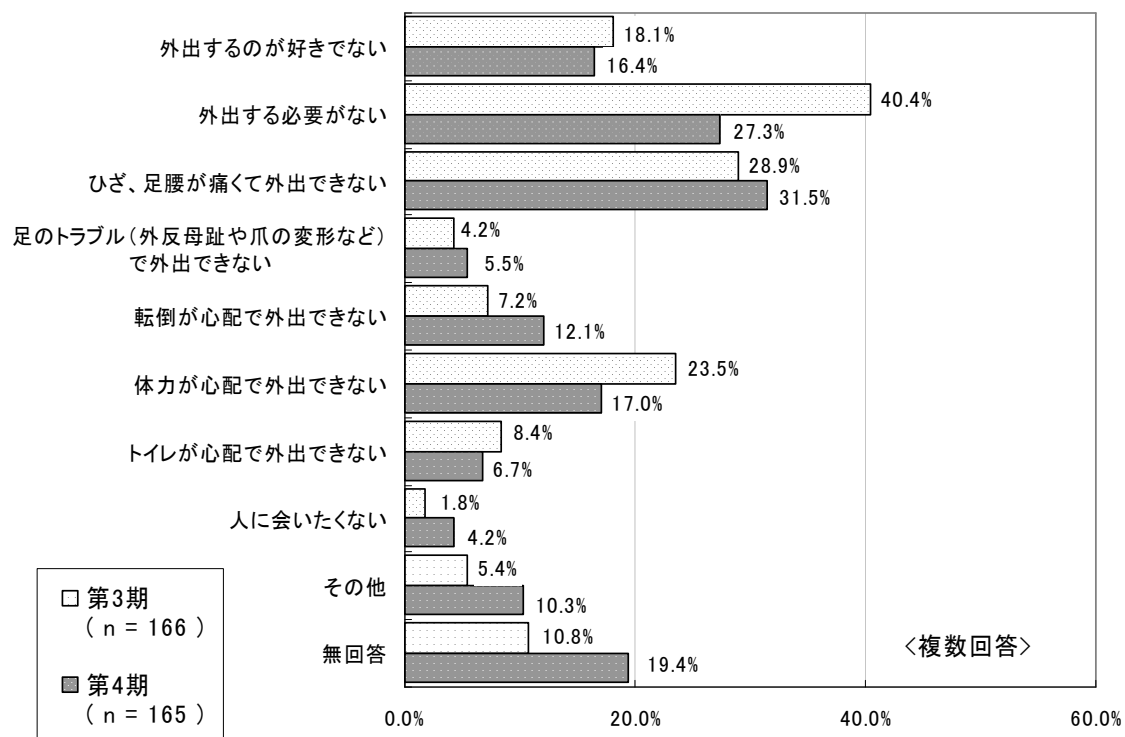
【外出の頻度】

外出の頻度をみると、第3期・第4期ともに「ほとんど毎日」と答えた方が最も多くなっており、次いで「週に2~3日程度」「週に1回程度」の順となっています。また第3期と比べると、「ほとんど毎日」「週に2~3日程度」と答えた方は少なくなっており、「週に1回程度」「月に2~3回程度」と答えた方は多くなっていることから、外出の頻度が下がっていることが考えられます。



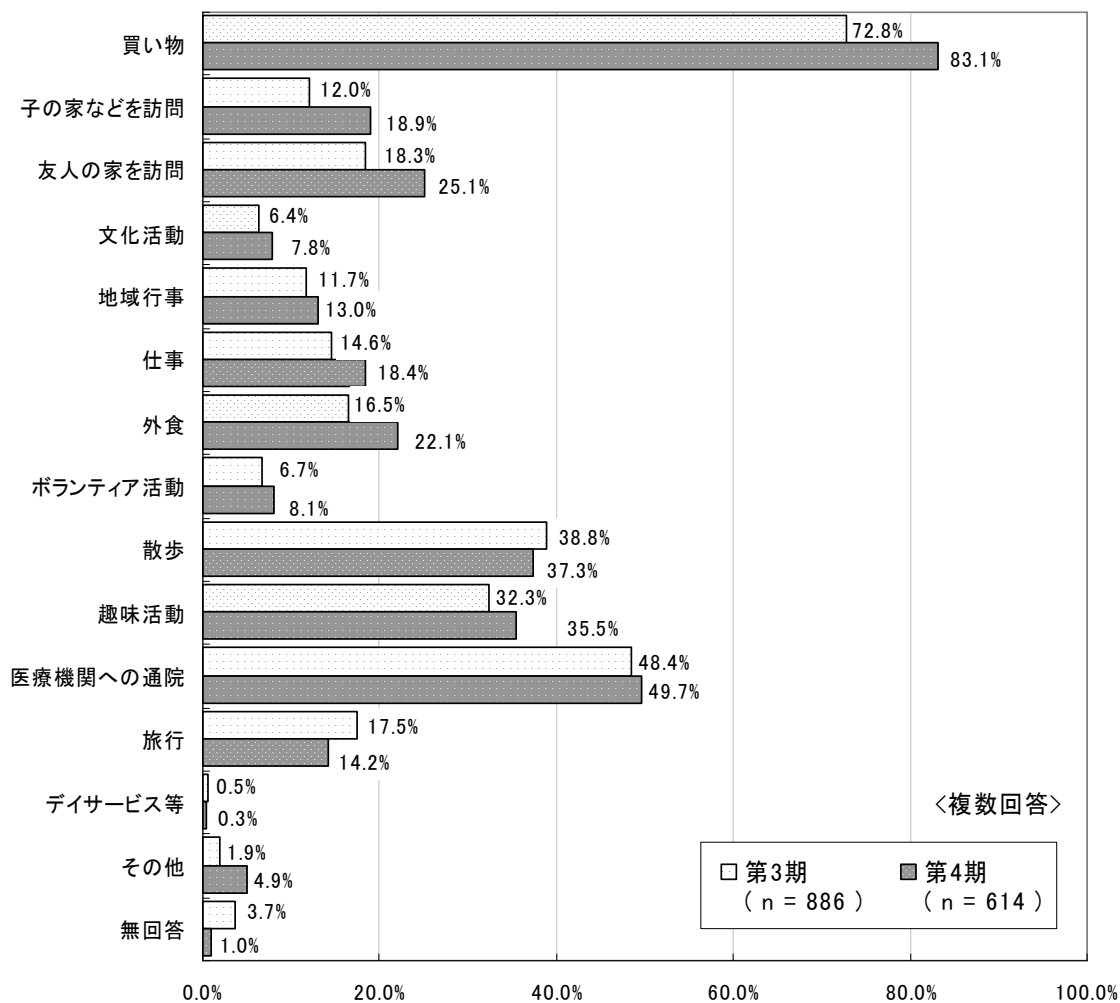
【外出しない理由】

外出の頻度を「週に1回程度」「月に2~3回程度」「ほとんど外出しない」と答えた方にあまり外出しない理由をたずねると、第3期では「外出する必要がある」40.4%と答えた方が最も多いのに対し、第4期では「ひざ、足腰が痛くて外出できない」31.5%と答えた方が最も多くなっています。



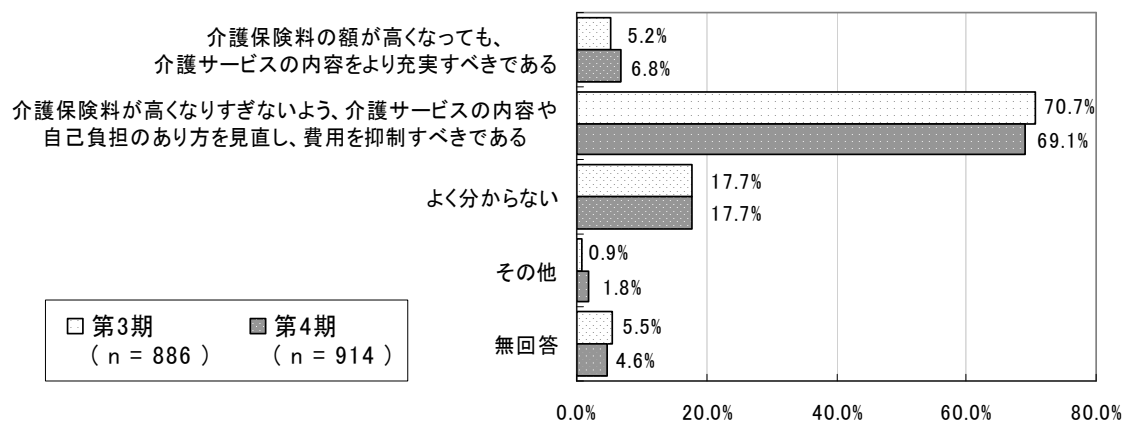
【外出する目的】

外出の頻度を「ほとんど毎日」「週に2～3日程度」と答えた方に外出する目的をたずねると、第3期・第4期ともに「買い物」と答えた方が7割を超えています。次いで、「医療機関への通院」「散歩」の順となっており、第3期と比べると外出する目的は増えているように見受けられます。



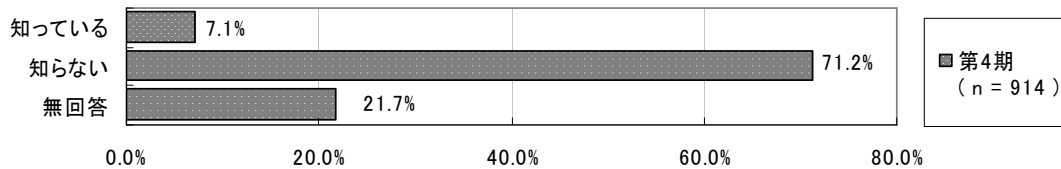
【介護保険のあり方について】

高齢者が安心して暮らせるための介護保険制度ですが、今後、施設を整備したり、介護サービスを利用する人が増えたり、サービスの内容をより充実させたりすると、介護保険料の額が高くなる仕組みになっていますが、このことについて介護保険のあり方をたずねると、第3期・第4期ともに「介護保険料が高くなりすぎないよう、介護サービスの内容や自己負担のあり方を見直し、費用を抑制すべきである」と答えた方が約7割と最も多くなっています。次いで、「よく分からない」「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」の順となっています。



【地域包括支援センターの認知度】

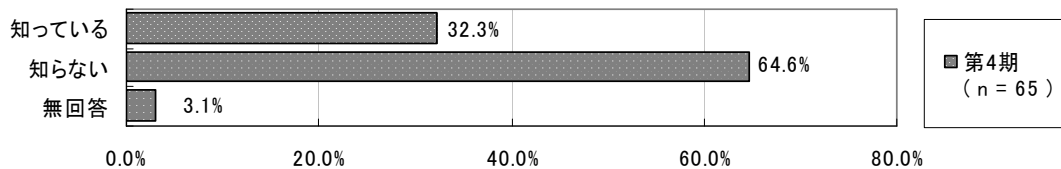
平成 18 年度より、市役所内に設置されている高齢者の保健・福祉・医療の向上のために必要な援助を行ったり、相談に応じる地域包括支援センターを知っているかたずねると、「知らない」と答えた方が 7 割を超えており、周知を図る必要が見受けられます。



※地域包括支援センターの運営は平成 18 年度からのため第 3 期の調査項目にはありません。

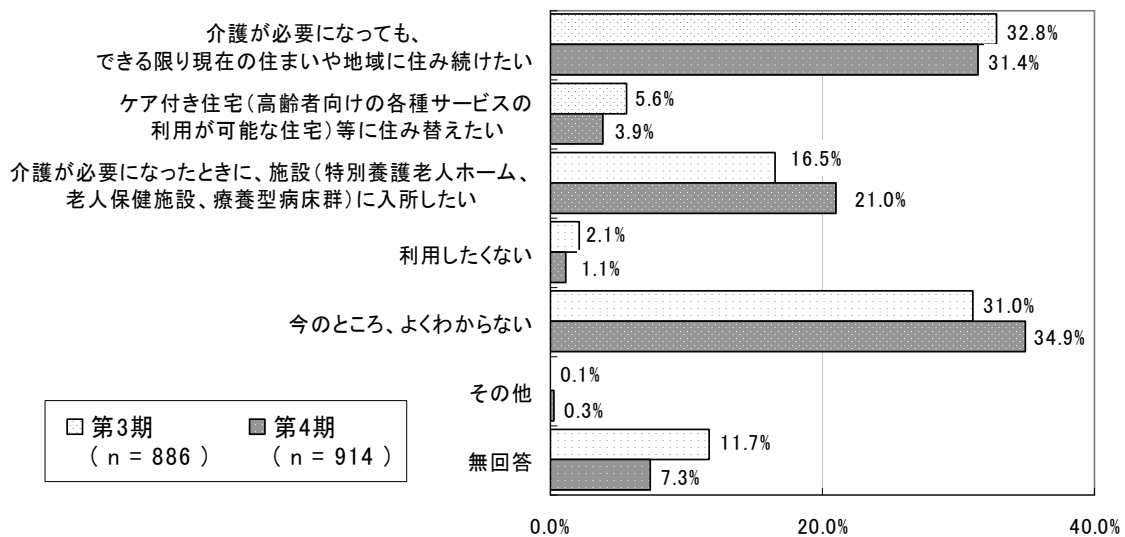
【ランチの認知度】

地域包括支援センターを「知っている」と答えた方に、地域における相談窓口として近くの協力機関(ランチ)があることを知っているかたずねると、「知らない」と答えた方が 6 割を超えており、地域包括支援センターと同様に周知を図る必要が見受けられます。



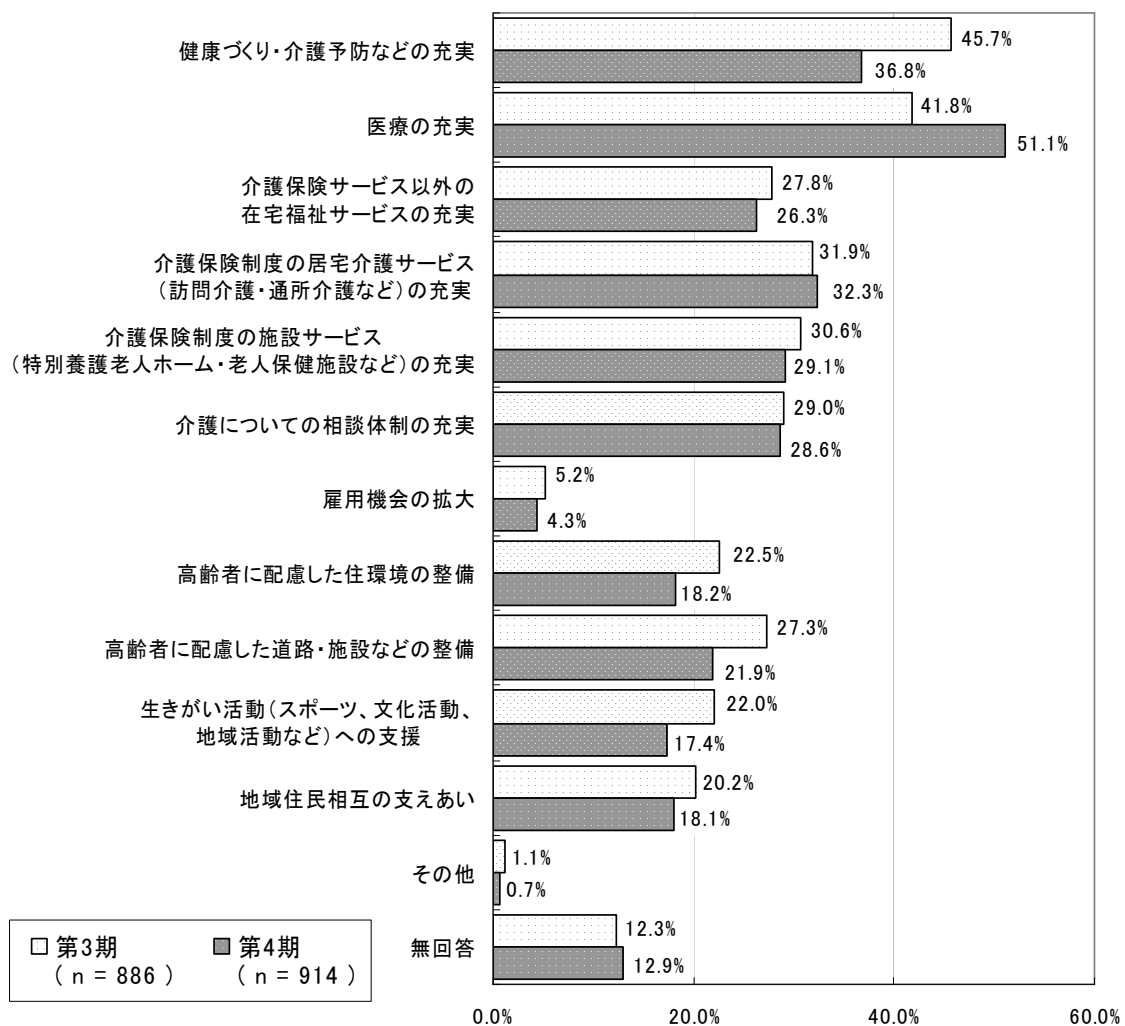
【将来の住まいと介護サービスの利用について】

将来の住まいと介護サービスの利用についての考えをたずねると、第3期は「介護が必要になっても、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」32.8%と答えた方が最も多くなっており、次いで「今のところわからない」31.0%、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型病床群）に入所したい」16.5%の順となっています。第4期は「今のところわからない」34.9%と答えた方が最も多くなっており、次いで「介護が必要になっても、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」31.4%、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型病床群）に入所したい」21.0%の順となっており施設入所を希望する方が増えていることがわかります。



【今後、行政に力を入れてほしいことについて】

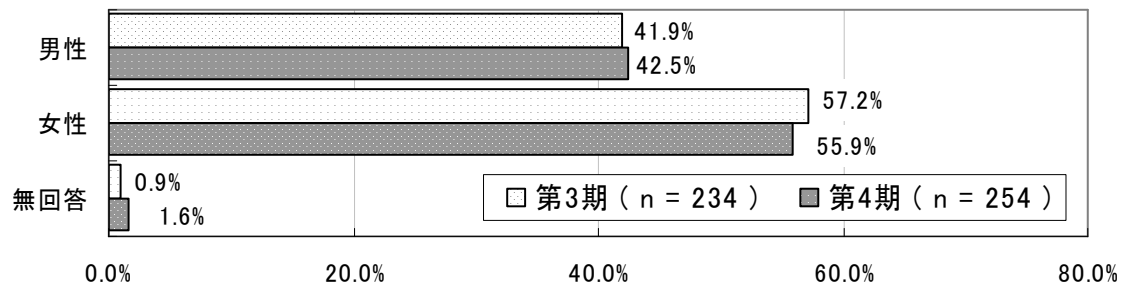
高齢者が暮らしやすくなるために、行政に対して今後どのようなことに力を入れてほしいかたずねると、第3期は「健康づくり・介護予防などの充実」45.7%と答えた方が最も多くなっており、次いで「医療の充実」41.8%、「介護保険制度の居宅介護サービス（訪問介護・通所介護など）の充実」31.9%の順となっています。第4期は「医療の充実」51.1%と答えた方が最も多くなっており、次いで「健康づくり・介護予防などの充実」36.8%、「介護保険制度の居宅介護サービス（訪問介護・通所介護など）の充実」32.3%の順となっています。第3期と比べて「医療の充実」に力を入れて欲しいと答えた方は多くなっており、「健康づくり・介護予防などの充実」と答えた方は少なくなっていることがわかります。



2号被保険者実態調査

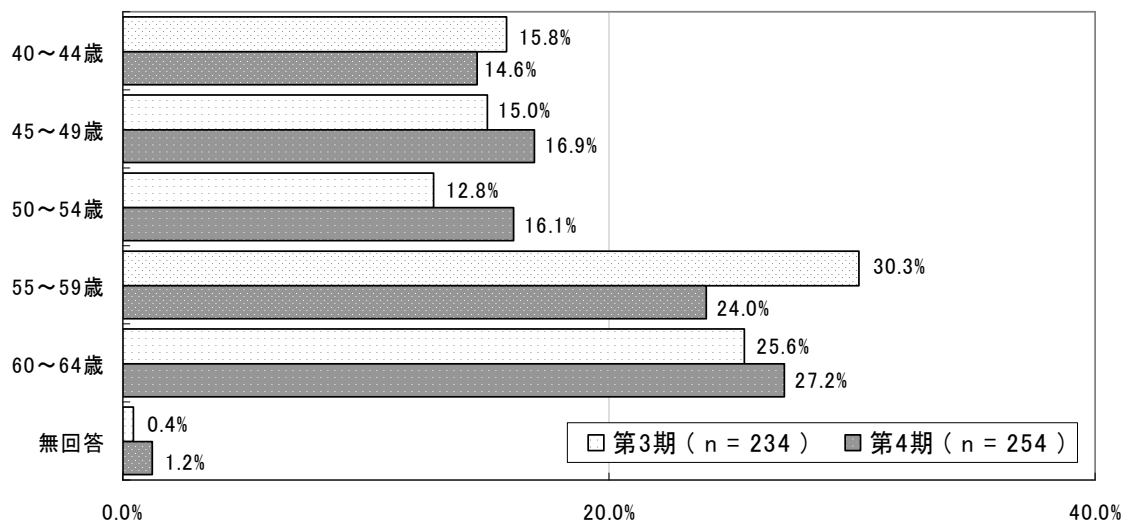
【性別】

調査対象者の性別をみると、第3期は「女性」57.2%、「男性」41.9%、第4期は「女性」55.9%、「男性」42.5%となっています。



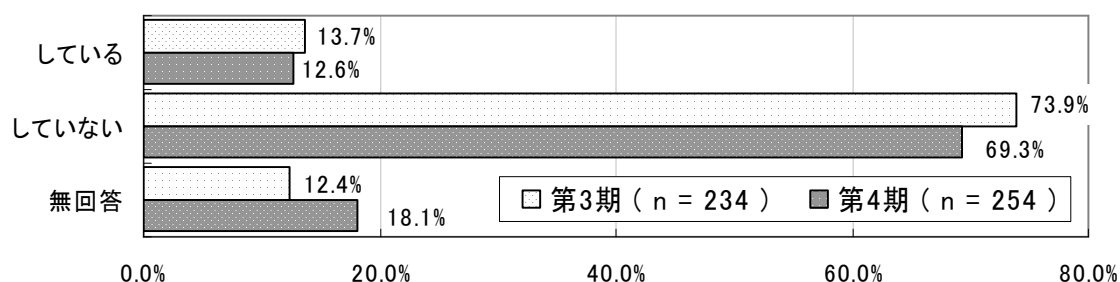
【年齢】

調査対象者の年齢をみると、第3期は「55～59歳」30.3%と答えた方が最も多く、次いで、「60～64歳」25.6%、「40～44歳」15.8%の順となっています。第4期は「60～64歳」27.2%と答えた方が最も多く、次いで、「55～59歳」24.0%、「45～49歳」16.9%の順となっています。



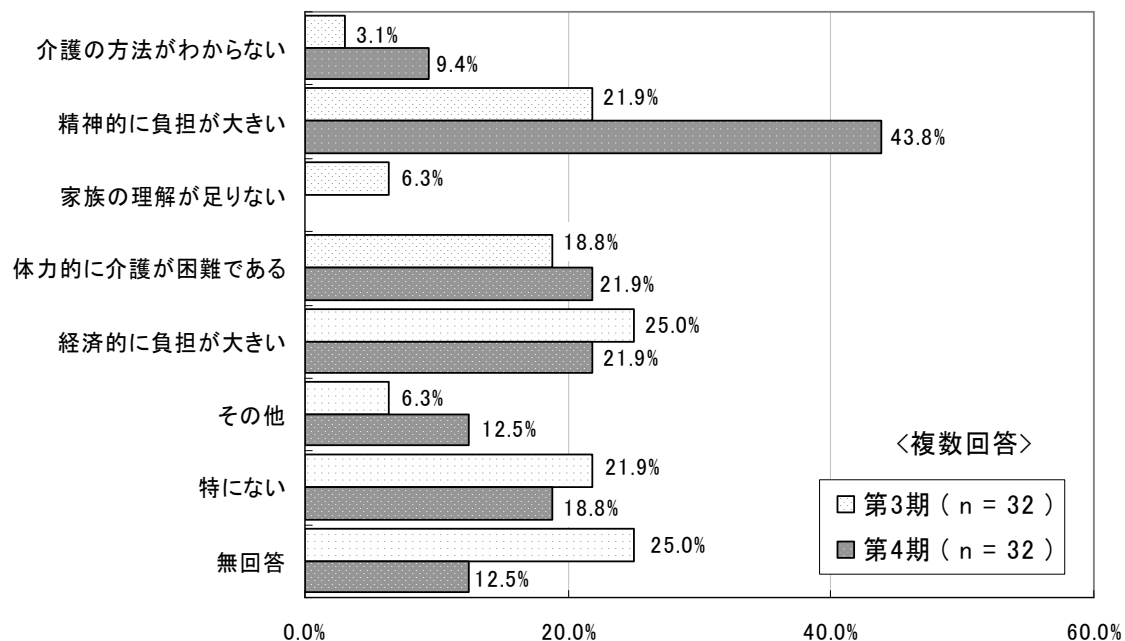
【ご家族の介護について】

ご家族の介護についてみると、第3期は「していない」73.9%、「している」13.7%となっています。第4期は「していない」69.3%、「している」12.6%となっています。



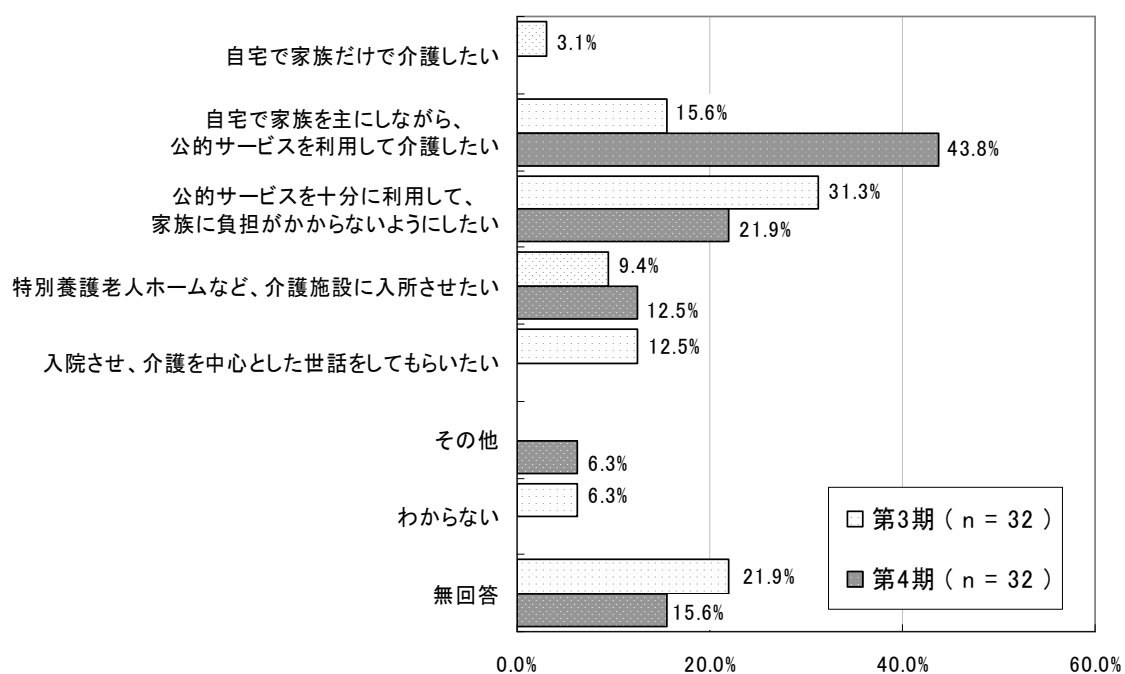
【介護を行う上で困っていることについて】

「ご家族の介護をしている」と答えた方に、介護を行う上で困っていることをたずねると、第3期は「経済的に負担が大きい」25.0%と答えた方が最も多くなっており、次いで「精神的に負担が大きい」21.9%、「体力的に介護が困難である」18.8%の順となっています。第4期は「精神的に負担が大きい」と答えた方が第3期と比べると2倍多くなっており、介護者に対する援助の必要が見受けられます。



【今後の介護方法について】

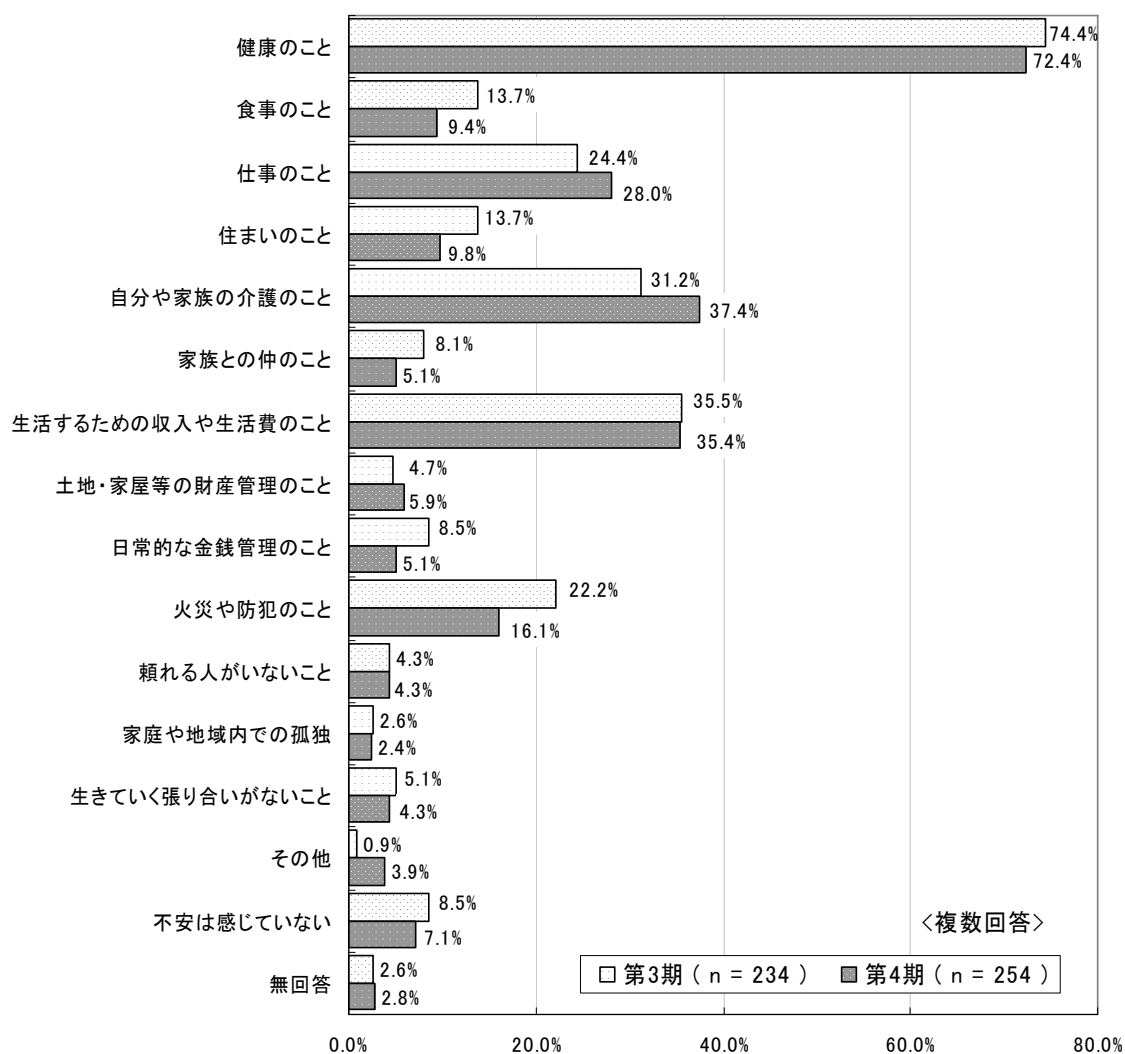
「家族の介護をしている」と答えた方に、今後の介護方法についてたずねると、第3期は「公的サービスを十分に利用して家族に負担がかからないようにしたい」31.3%と答えた方が最も多くなっており、次いで「自宅で家族を主にしながら、公的サービスを利用して介護したい」15.6%、「入院させ、介護を中心とした世話をしてもらいたい」12.5%の順となっています。第4期は「自宅で家族を主にしながら、公的サービスを利用して介護したい」43.8%と答えた方が第3期と比べると約3倍となっており、在宅介護の希望が高くなっています。



※「入院させ、介護を中心とした世話をしてもらいたい」の項目は第3期の調査のみ。

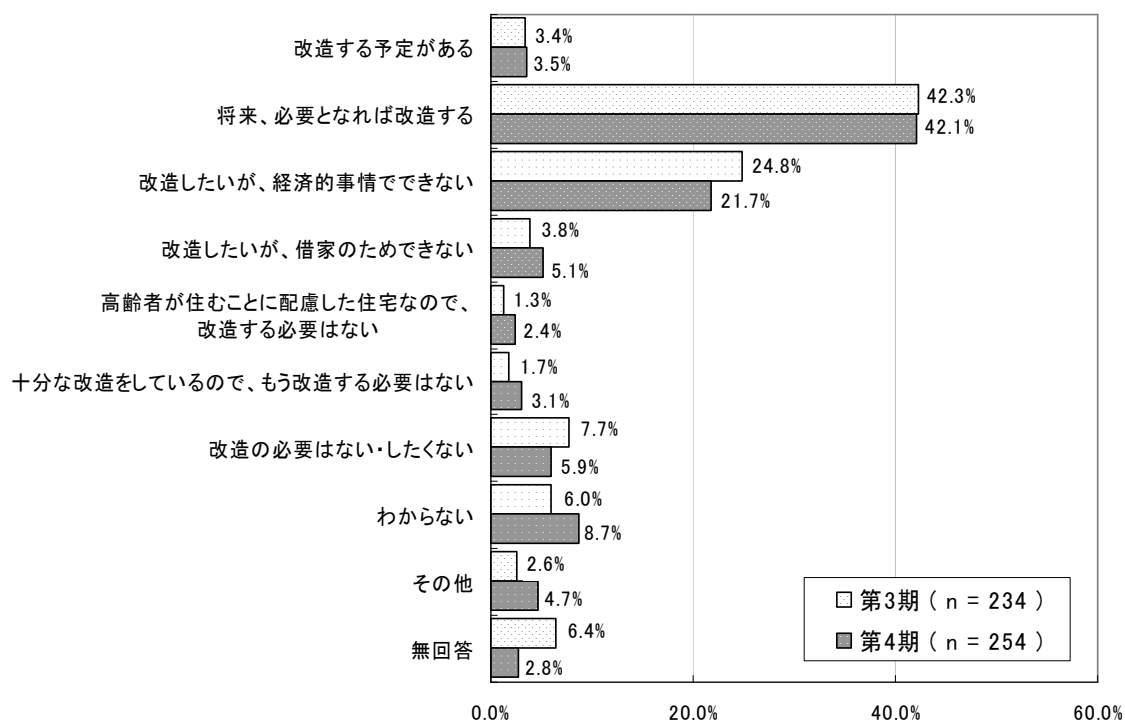
【日常生活の不安について】

日常生活全般を通して不安に感じていることについてたずねると、第3期・第4期ともに「健康のこと」と答えた方が最も多く7割を超えています。次いで、第3期は「生活するための収入や生活費のこと」35.5%、「自分や家族の介護のこと」31.2%の順、第4期は「自分や家族の介護のこと」37.4%、「生活するための収入や生活費のこと」35.4%の順となっています。



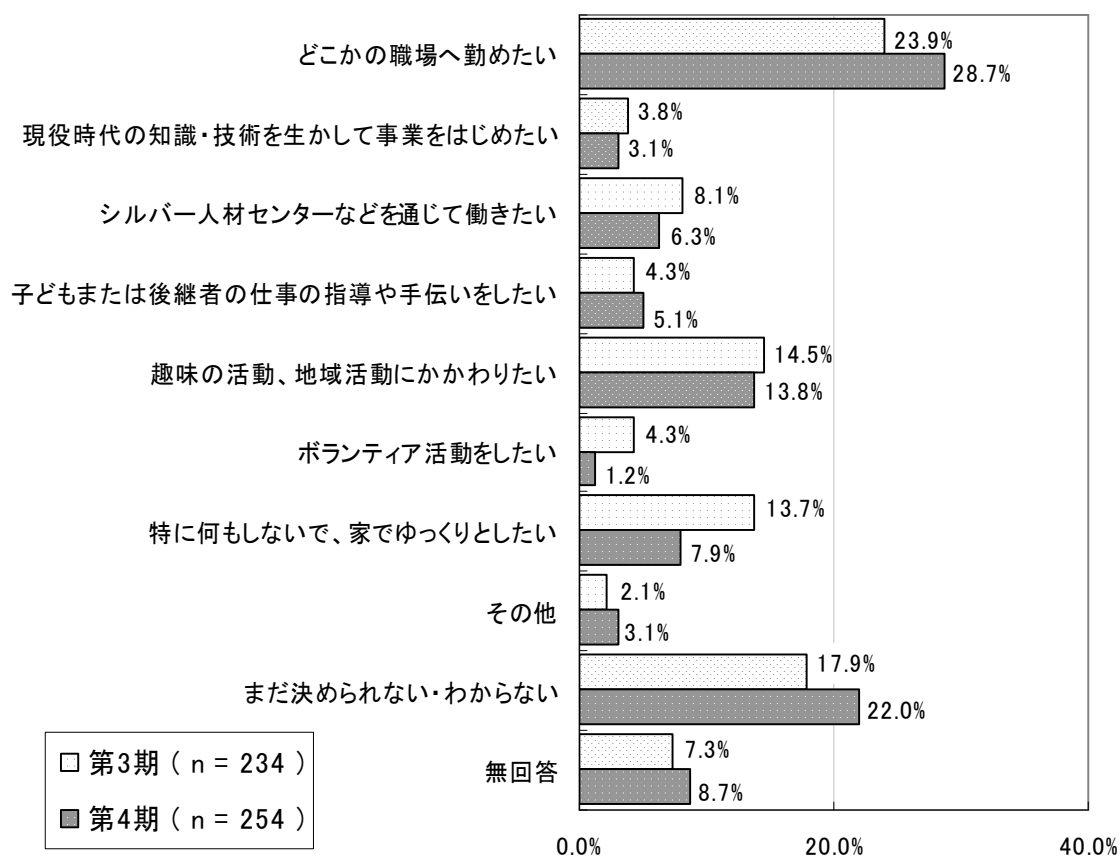
【今後、住宅を改造する予定や必要性について】

これからも現在の住宅に住み続けるために、今の住宅を改造する予定や必要性の有無をたずねると、第3期・第4期ともに「将来、必要となれば改造する」と答えた方が最も多く4割を超えています。次いで、「改造したいが、経済的事情でできない」と答えた方が多くなっています。



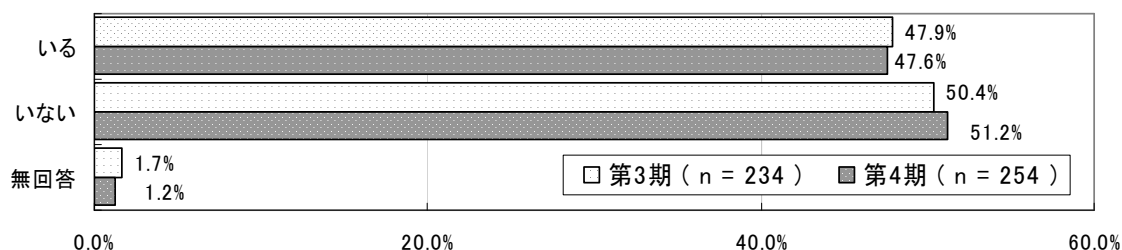
【今後の就労意向について】

仕事をしている方は現在の仕事をやめたあと、仕事をしていない方は今後どのようにしたいか就労意向をたずねると、第3期・第4期ともに「どこかの職場へ勤めたい」と答えた方が最も多くなっています。次いで、「まだ決められない・わからない」「趣味の活動、地域活動にかかわりたい」の順となっており、第3期と比べると「どこかの職場へ勤めたい」と答えた方が増えており、「特に何もしないで、家でゆっくりとしたい」と答えた方が減っていることから就労意向は高くなっています。



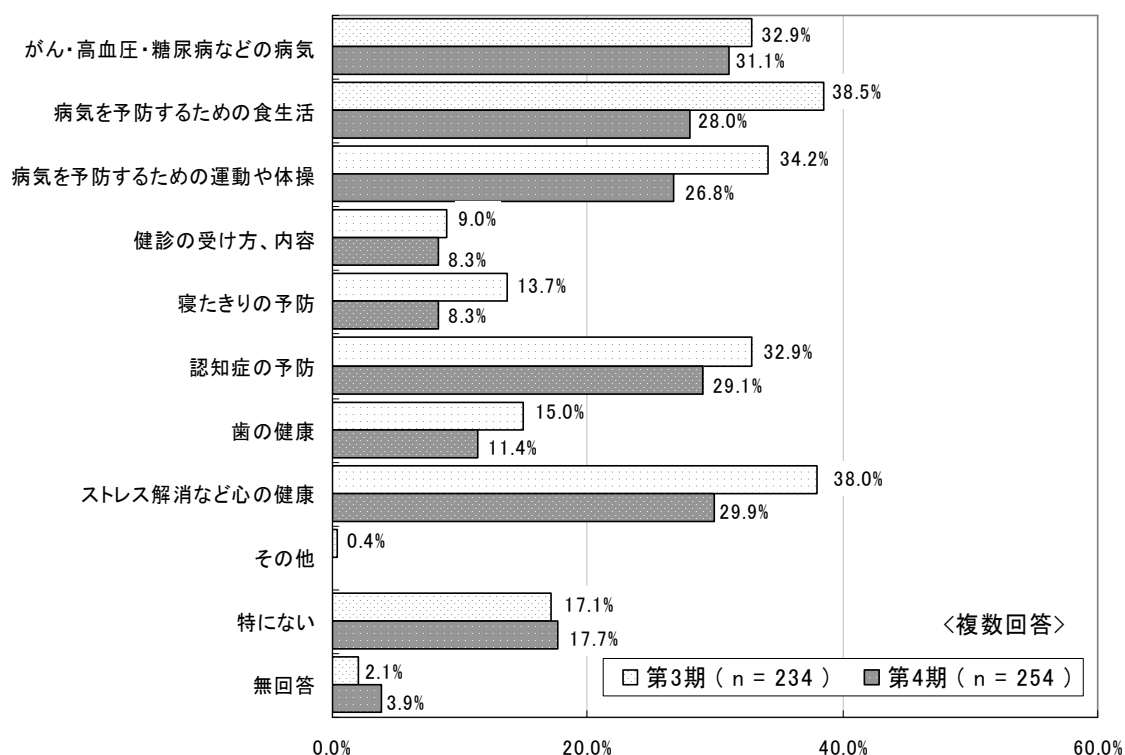
【かかりつけ医について】

気軽に診療や健康の相談ができる「かかりつけ医(病院・診療所)」の有無をたずねると、第3期・第4期ともに「いる」「いない」と答えた方はほぼ同じ割合となっています。



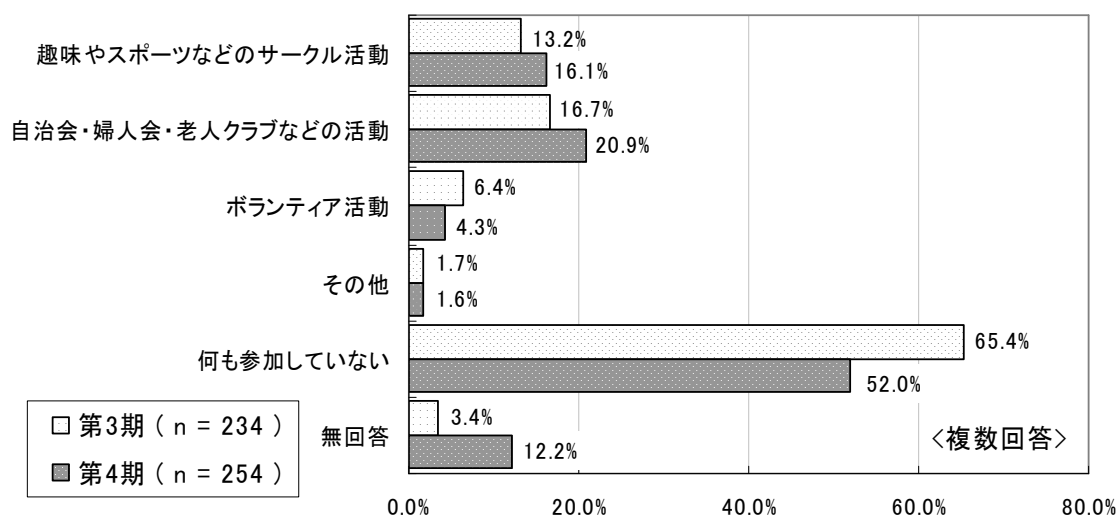
【健康について知りたいこと】

健康について知りたいことをたずねると、第3期は「病気を予防するための食生活」38.5%、「ストレス解消など心の健康」38.0%、「病気を予防するための運動や体操」34.2%の順となっています。第4期は「がん・高血圧・糖尿病などの病気」31.1%が最も多くなっており、「ストレス解消など心の健康」29.9%、「認知症の予防」29.1%の順となっています。



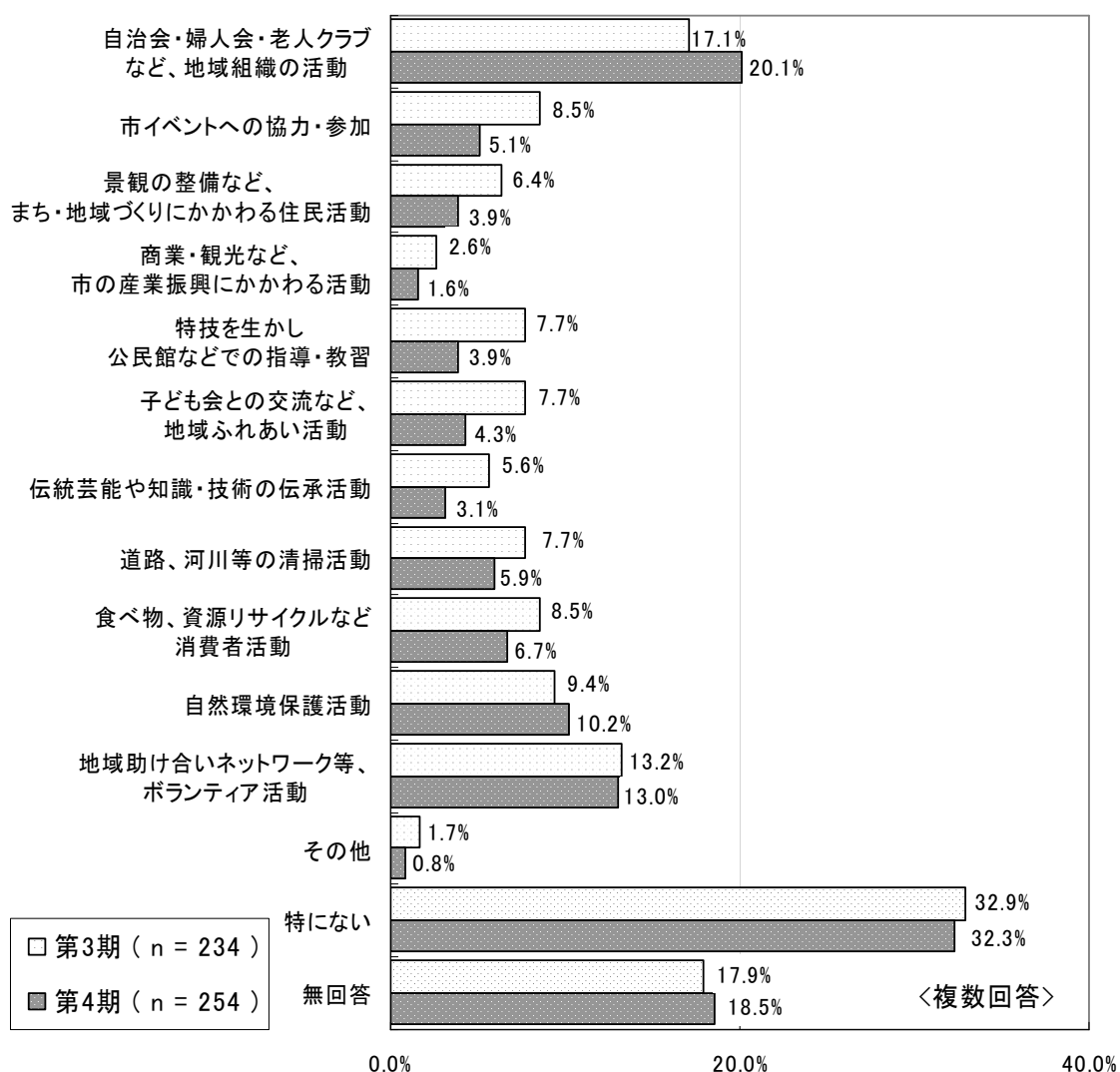
【地域活動への参加について】

地域活動への参加についてたずねると、第3期・第4期ともに「何も参加していない」と答えた方が最も多くなっており過半数を超えています。次いで、「自治会・婦人会・老人クラブなどの活動」「趣味やスポーツなどのサークル活動」の順となっており、第3期と比べる地域活動をしている方が増えていることがわかります。



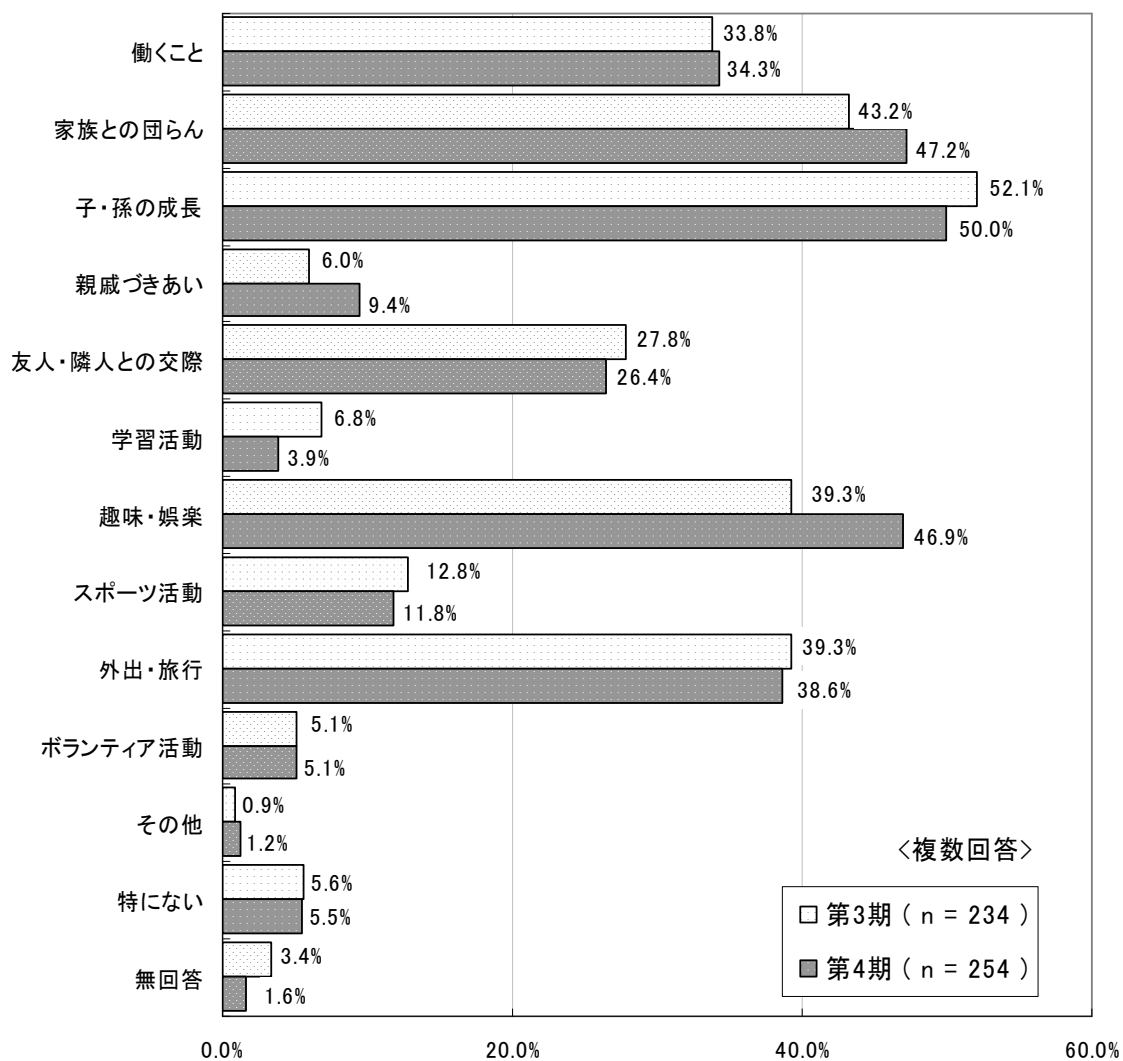
【今後も続けたい活動・参加したい活動について】

現在参加しており今後も続けたい活動や、今後新たに参加したい活動についてたずねると、第3期・第4期ともに「自治会・婦人会・老人クラブなど、地域組織の活動」と答えた方が最も多くなっています。次いで、「地域助け合いネットワーク等、ボランティア活動」「自然環境保護活動」の順となっています。



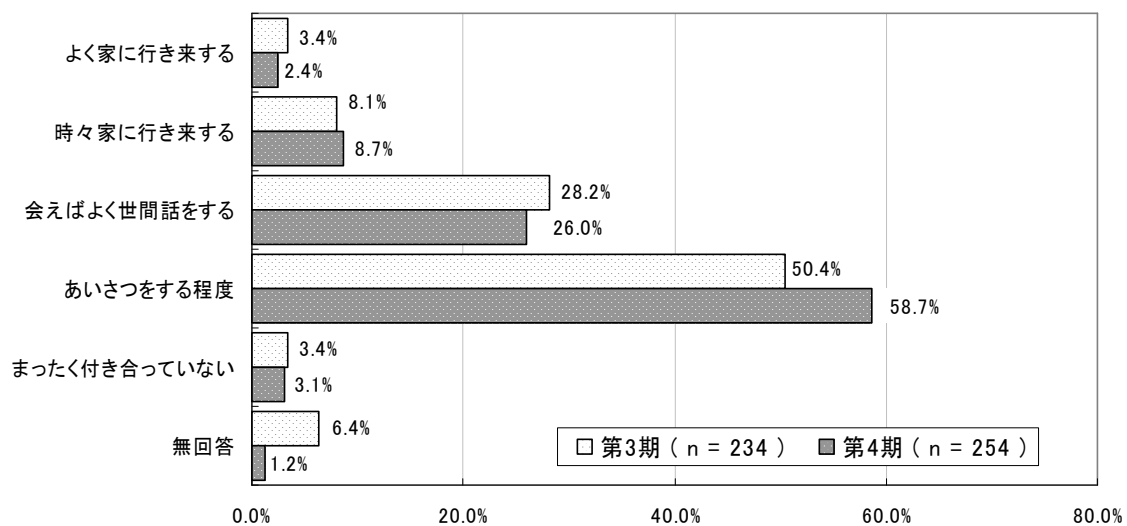
【生きがいを感じることにについて】

生きがいを感じることをたずねると、第3期・第4期ともに「子・孫の成長」と答えた方が最も多く過半数を超えています。次いで、第3期は「家族との団らん」43.2%、「趣味・娯楽」39.3%の順となっています。第4期は「家族との団らん」47.2%、「趣味・娯楽」46.9%の順となっており、第3期と同様の傾向が出ています。



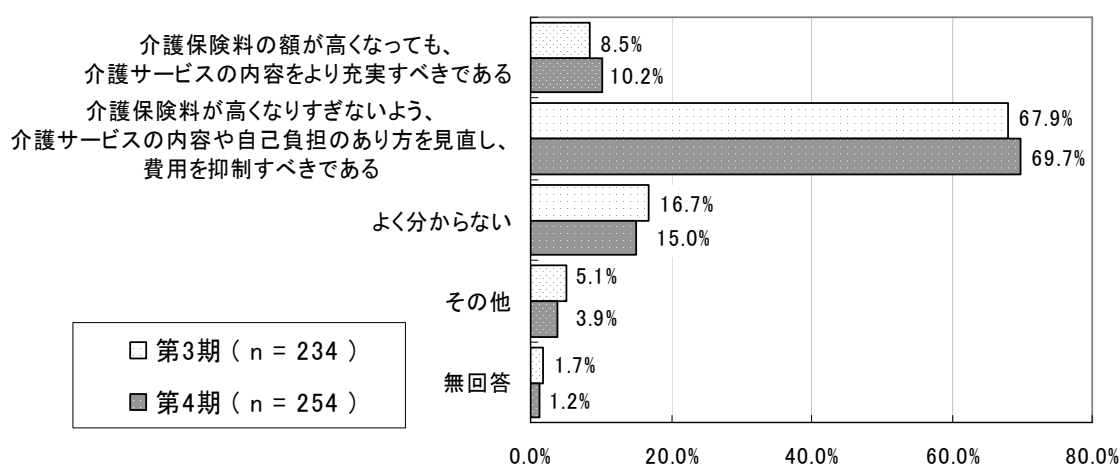
【近所づきあいについて】

近所づきあいの程度をたずねると、第3期・第4期ともに「あいさつをする程度」と答えた方が最も多く過半数を超えています。次いで、「会えばよく世間話をする」「時々家に行き来する」の順となっています。第3期と比べると地域での交流が減少していると考えられます。



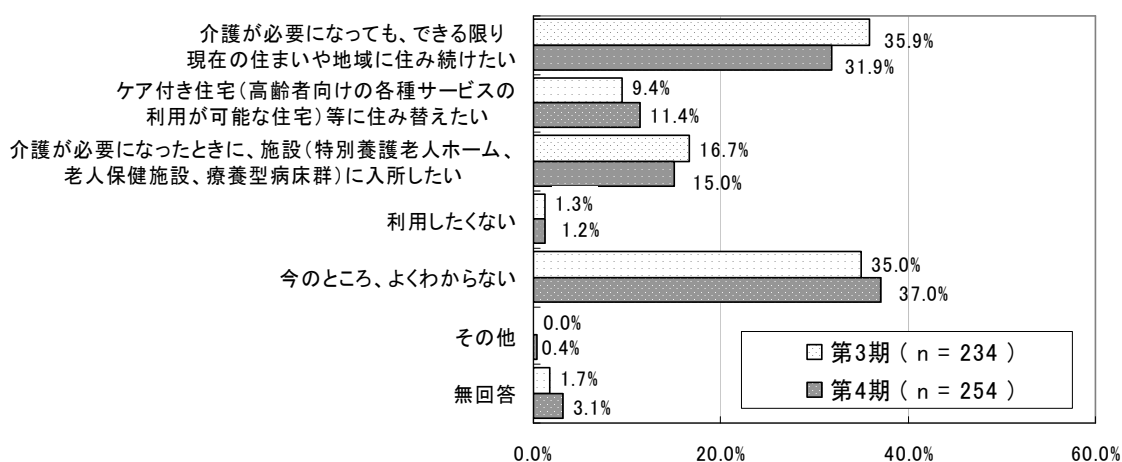
【介護保険のあり方について】

高齢者が安心して暮らせるための介護保険制度ですが、今後、施設を整備したり、介護サービスを利用する人が増えたり、サービスの内容をより充実させたりすると、介護保険料の額が高くなる仕組みになっていますが、このことについて介護保険のあり方をたずねると、第3期・第4期ともに「介護保険料が高くなりすぎないよう、介護サービスの内容や自己負担のあり方を見直し、費用を抑制すべきである」と答えた方が約7割と最も多くなっています。次いで、「よく分からない」「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」の順となっており、第3期と同様の傾向となっています。



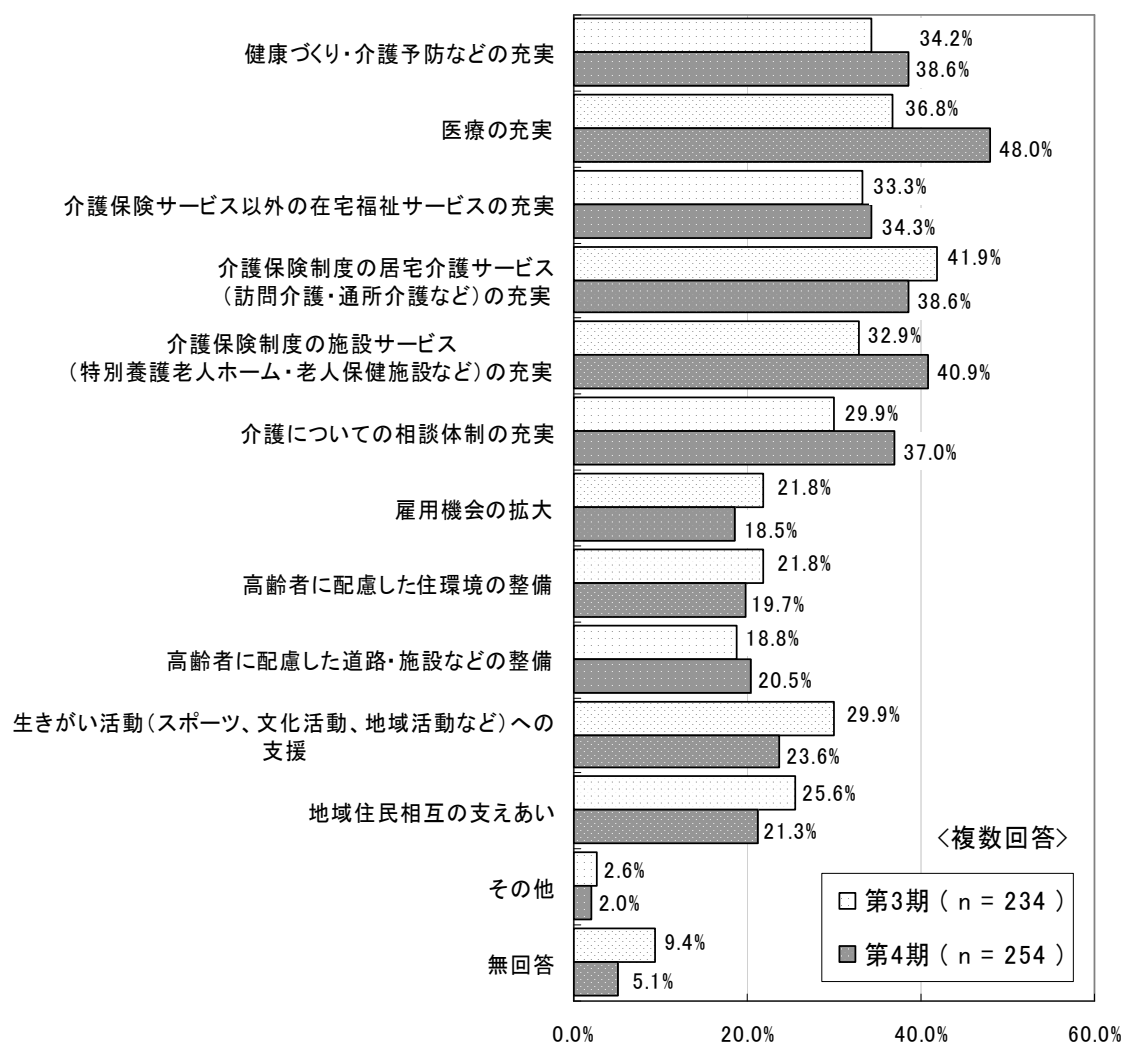
【将来の住まいと介護サービスの利用について】

将来の住まいと介護サービスの利用についての考えをたずねると、第3期は「介護が必要になっても、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」35.9%と答えた方が最も多くなっており、次いで「今のところわからない」35.0%、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型病床群）に入所したい」16.7%の順となっています。第4期は「今のところわからない」37.0%と答えた方が最も多くなっており、次いで「介護が必要になっても、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」31.9%、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型病床群）に入所したい」15.0%の順となっています。



【今後、行政に力を入れてほしいことについて】

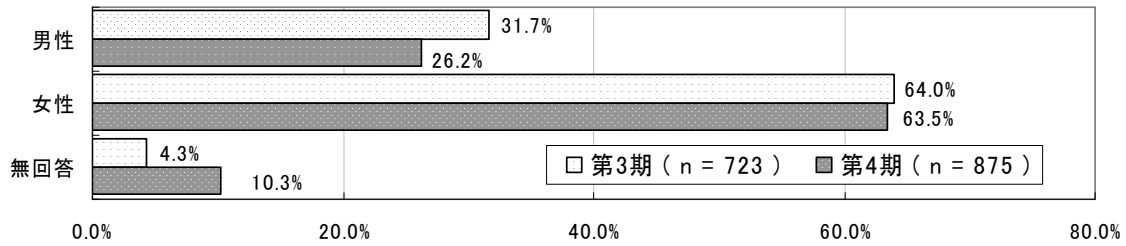
高齢者が暮らしやすくなるために、行政に対して今後どのようなことに力を入れてほしいかたずねると、第3期は「介護保険制度の居宅介護サービス(訪問介護・通所介護など)の充実」41.9%と答えた方が最も多くなっており、次いで「医療の充実」36.8%、「健康づくり・介護予防などの充実」34.2%の順となっています。第4期は「医療の充実」48.0%と答えた方が最も多くなっており、次いで「介護保険制度の施設サービス(特別養護老人ホーム・老人保健施設など)の充実」40.9%、「健康づくり・介護予防などの充実」「介護保険制度の居宅介護サービス(訪問介護・通所介護など)の充実」38.6%、の順となっており第3期と比べると「医療の充実」「介護保険制度の施設サービス(特別養護老人ホーム・老人保健施設など)の充実」に力を入れて欲しいと答えた方が多くなっていることがわかります。



要介護認定者実態調査（居宅用）

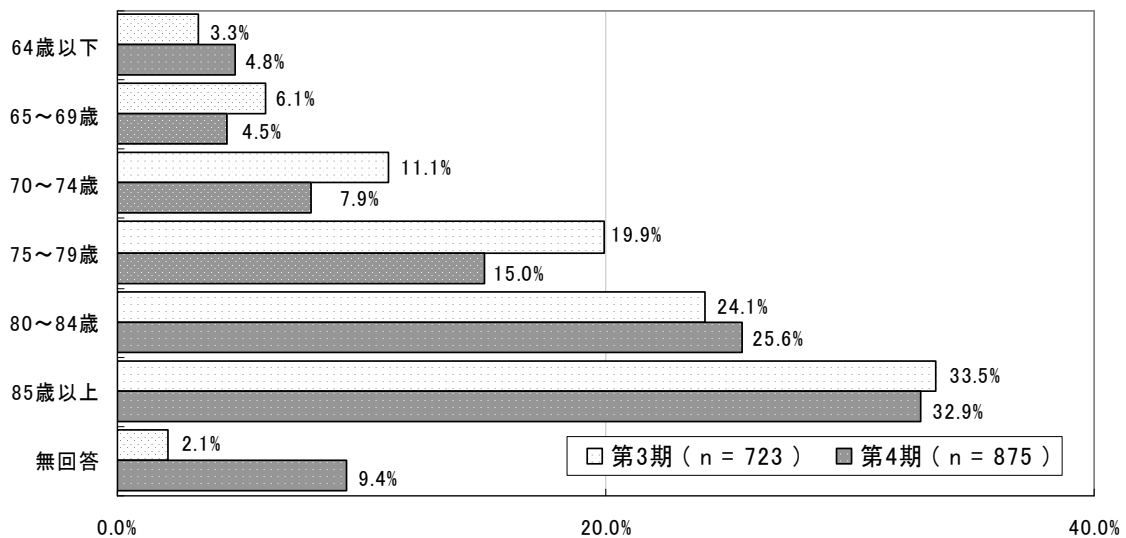
【性別】

調査対象者の性別をみると、第3期は「女性」64.0%、「男性」31.7%、第4期は「女性」63.5%、「男性」26.2%となっています。



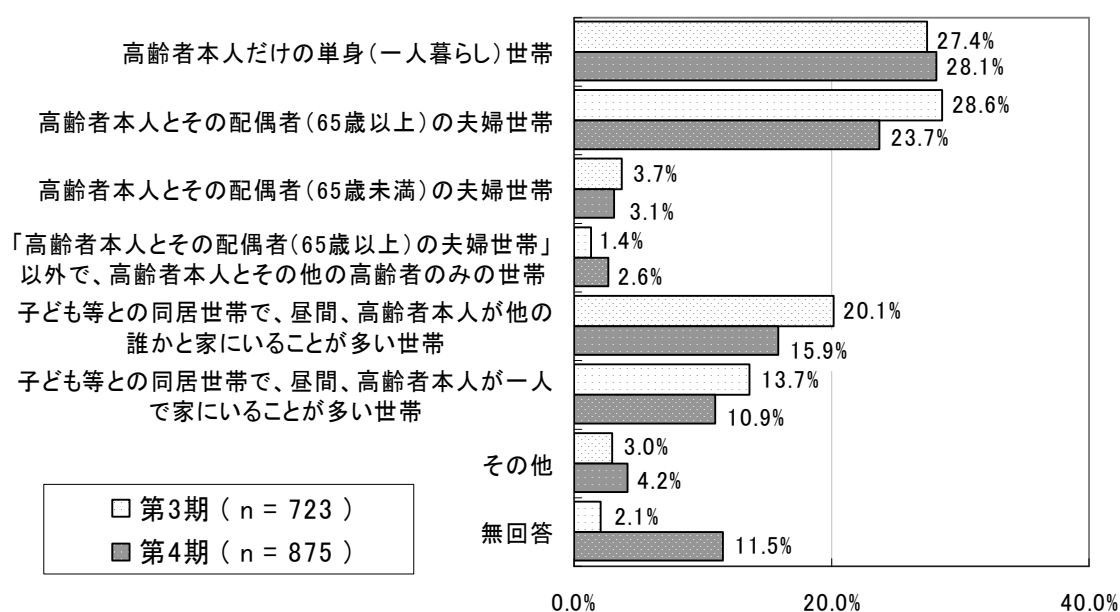
【年齢】

調査対象者の年齢をみると、第3期・第4期ともに「85歳以上」と答えた方が最も多く3割を超えており、次いで、「80～84歳」「75～79歳」の順となっています。



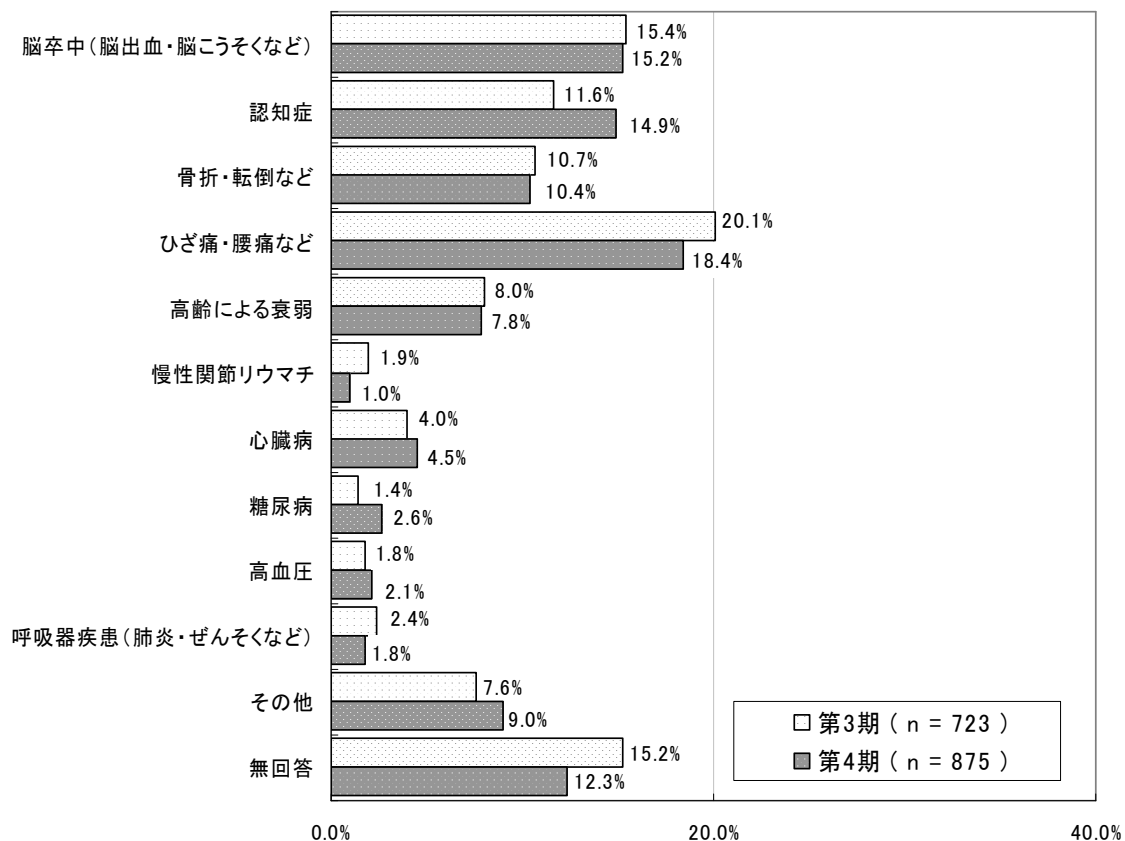
【家族構成】

家族構成をみると、第3期は「高齢者とその配偶者(65歳以上)の夫婦世帯」28.6%と答えた方が最も多く、次いで、「高齢者本人だけの単身(一人暮らし)世帯」27.4%、「子ども等との同居世帯で、昼間、高齢者本人が他の誰かと家にいることが多い世帯」20.1%の順となっています。第4期は「高齢者本人だけの単身(一人暮らし)世帯」28.1%と答えた方が最も多く、次いで、「高齢者とその配偶者(65歳以上)の夫婦世帯」23.7%、「子ども等との同居世帯で、昼間、高齢者本人が他の誰かと家にいることが多い世帯」15.9%の順となっています。



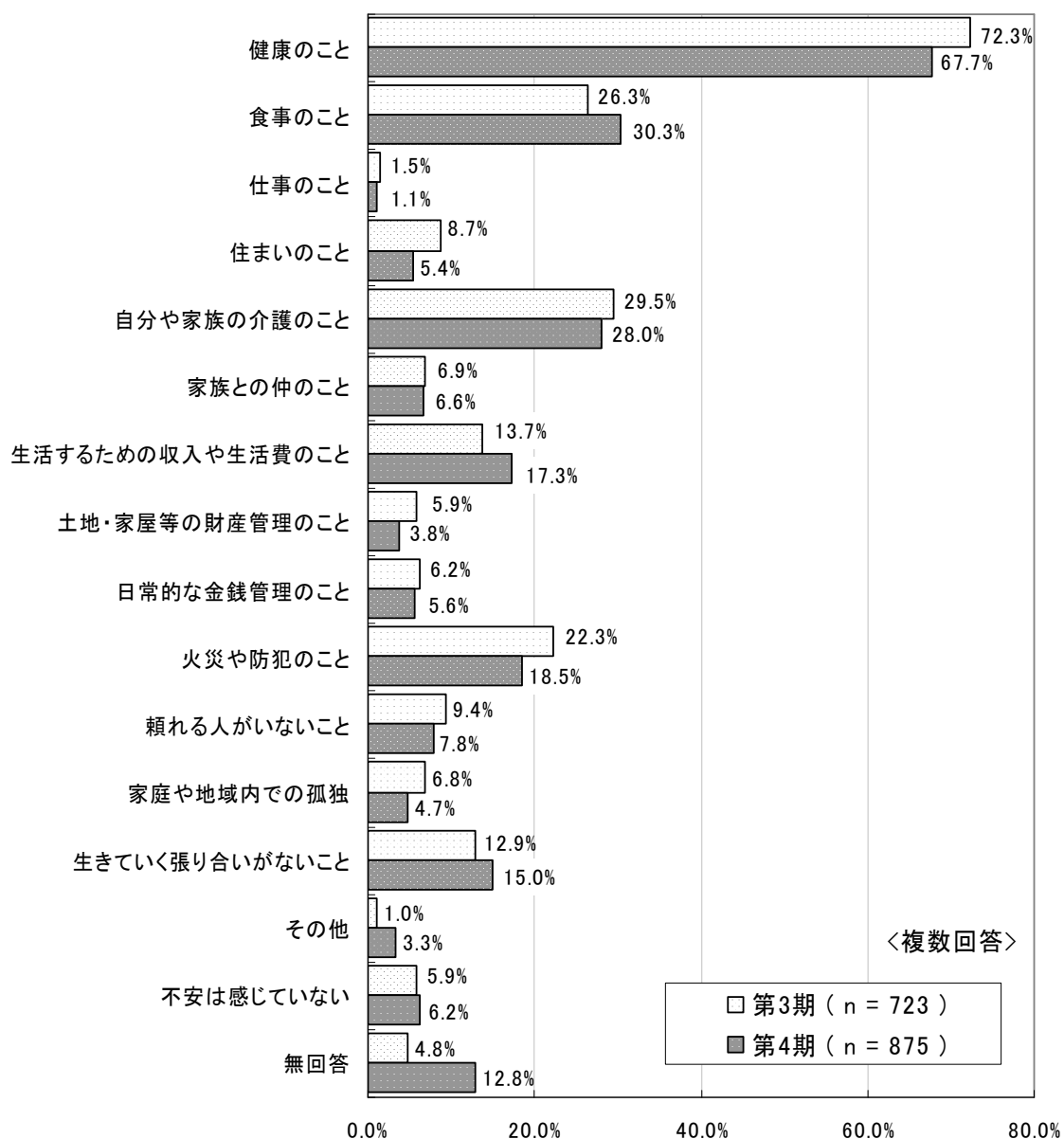
【介護が必要になった主な原因】

介護が必要になった主な原因をたずねると、第3期・第4期ともに「ひざ痛・腰痛など」と答えた方が最も多くなっており、次いで「脳卒中(脳出血・脳こうそくなど)」「認知症」の順となっています。第3期と比べると「認知症」と答えた方が他の項目と比べて多くなっていることがわかります。



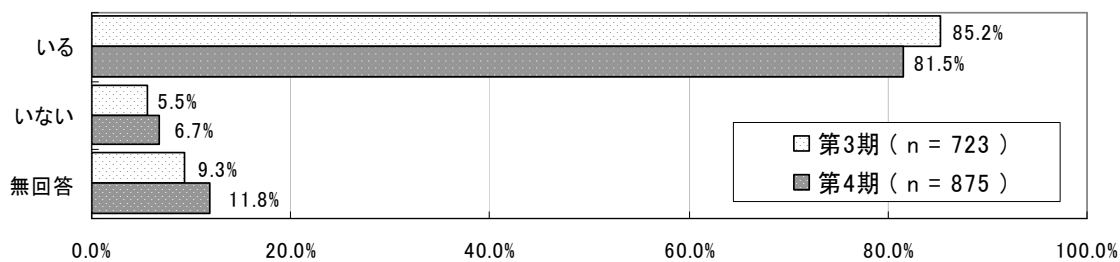
【日常生活の不安について】

日常生活全般を通して不安に感じていることについてたずねると、第3期・第4期ともに「健康のこと」と答えた方が約7割と最も多くなっています。次いで、第3期は「自分や家族の介護のこと」29.5%、「食事のこと」26.3%の順、第4期は「食事のこと」30.3%、「自分や家族の介護のこと」28.0%の順となっています。



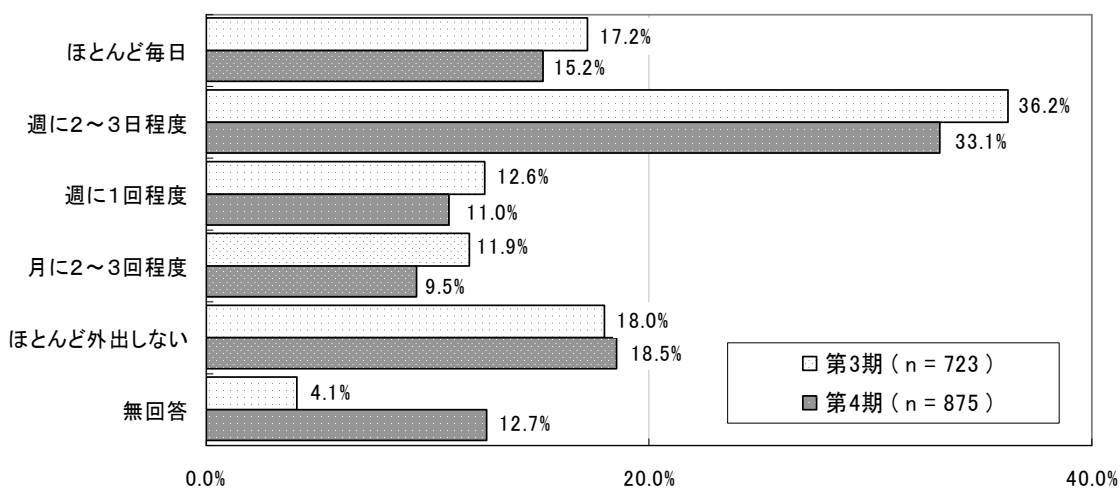
【主治医について】

診療や健康の相談ができる主治医の有無をたずねると、第3期・第4期ともに「いる」と答えた方が8割を超えています。



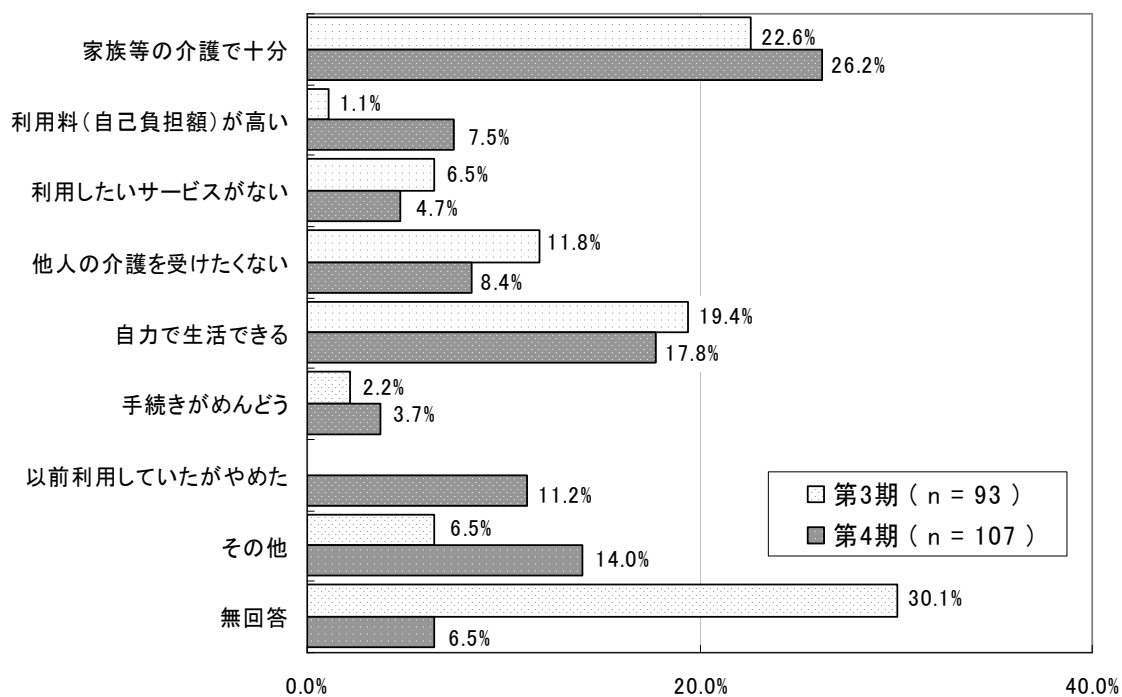
【外出の頻度】

外出の頻度をみると、第3期・第4期ともに「週に2～3日程度」と答えた方が最も多くなっており、次いで「ほとんど外出しない」「ほとんど毎日」の順となっています。また第3期と比べると、「ほとんど毎日」「週に2～3日程度」と答えた方は若干少なくなっており、「ほとんど外出しない」と答えた方は多くなっていることから、外出の頻度が下がっていることがわかります。



【サービスを利用していない理由】

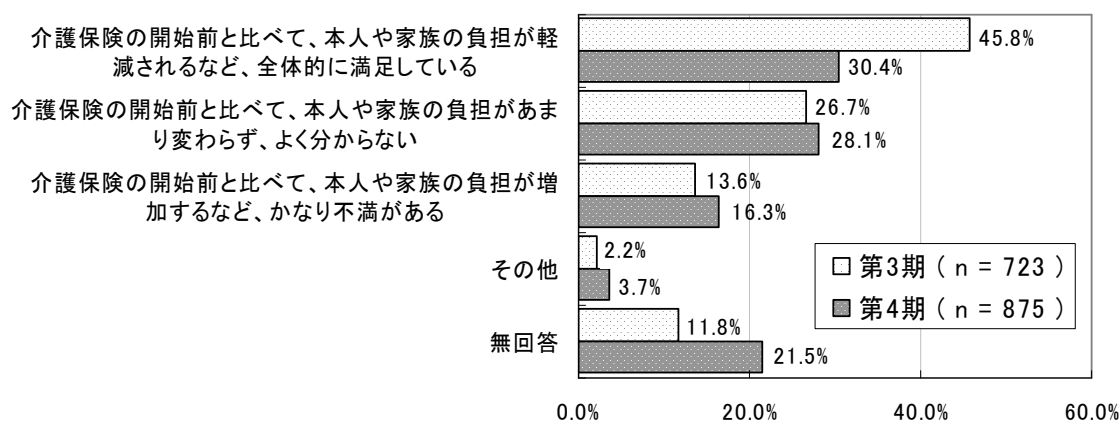
現在、介護サービスを利用していない方にサービスを利用していない理由をたずねると、第3期・第4期ともに「家族等の介護で十分」「自力で生活できる」と答えた方が多くなっています。また、第3期と比べると「利用料(自己負担額)が高い」と答えた方が約7倍に増えていることからサービスを利用したくても経済的に厳しい方が多くなっている傾向が見受けられます。



※「以前利用していたがやめた」の項目は第4期の調査のみ。

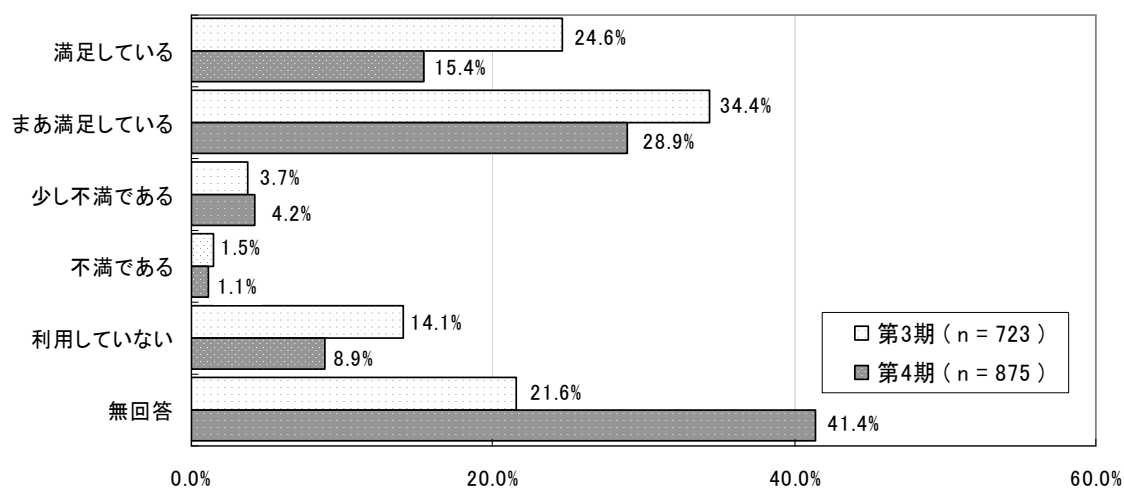
【介護保険に対する満足度】

介護保険に対する満足度をたずねると、第3期・第4期ともに「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している」と答えた方が最も多くなっており、次いで「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担があまり変わらず、よく分からない」「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担が増加するなど、かなり不満がある」の順となっています。第3期と比べると「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している」と答えた方が大幅に少なくなっており、「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担があまり変わらず、よく分からない」「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担が増加するなど、かなり不満がある」と答えた方が多くなっていることから、満足度が少し下がっているように見受けられます。



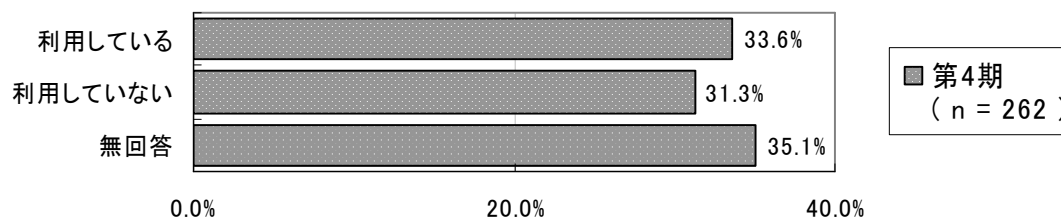
【居宅サービス計画(ケアプラン)の満足度】

居宅サービス計画(ケアプラン)の内容に満足しているかたずねると、第3期・第4期ともに「まあ満足している」と答えた方が最も多くなっており、次いで「満足している」「利用していない」の順となっています。第3期と比べると「満足している」「まあ満足している」と答えた方が少なくなっており、「少し不満である」と答えた方が増えていることから、満足度は下がっている傾向にあることがわかります。



【介護予防サービスについて】

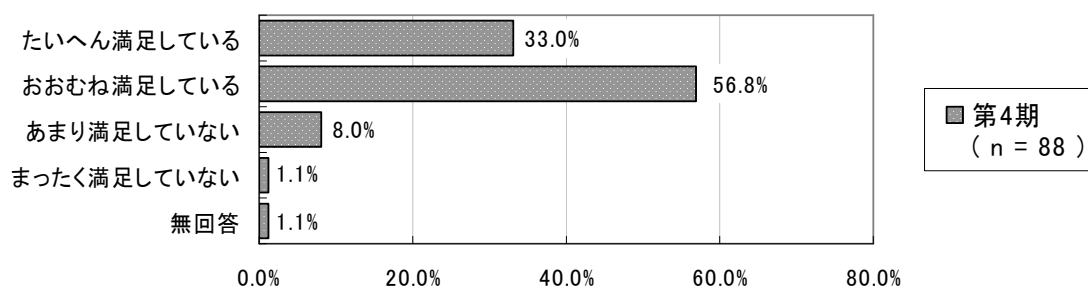
要介護認定が「要支援 1」「要支援 2」の方に、平成 19 年度から新たに始まった要支援状態の改善や悪化を防ぐための介護予防サービスを現在利用しているかたずねると、「利用している」33.6%、「利用していない」31.3%とほぼ同じ割合となっています。



※介護予防サービスは平成 19 年度から始まったため第 3 期の調査項目にはない。

【介護予防サービスの満足度】

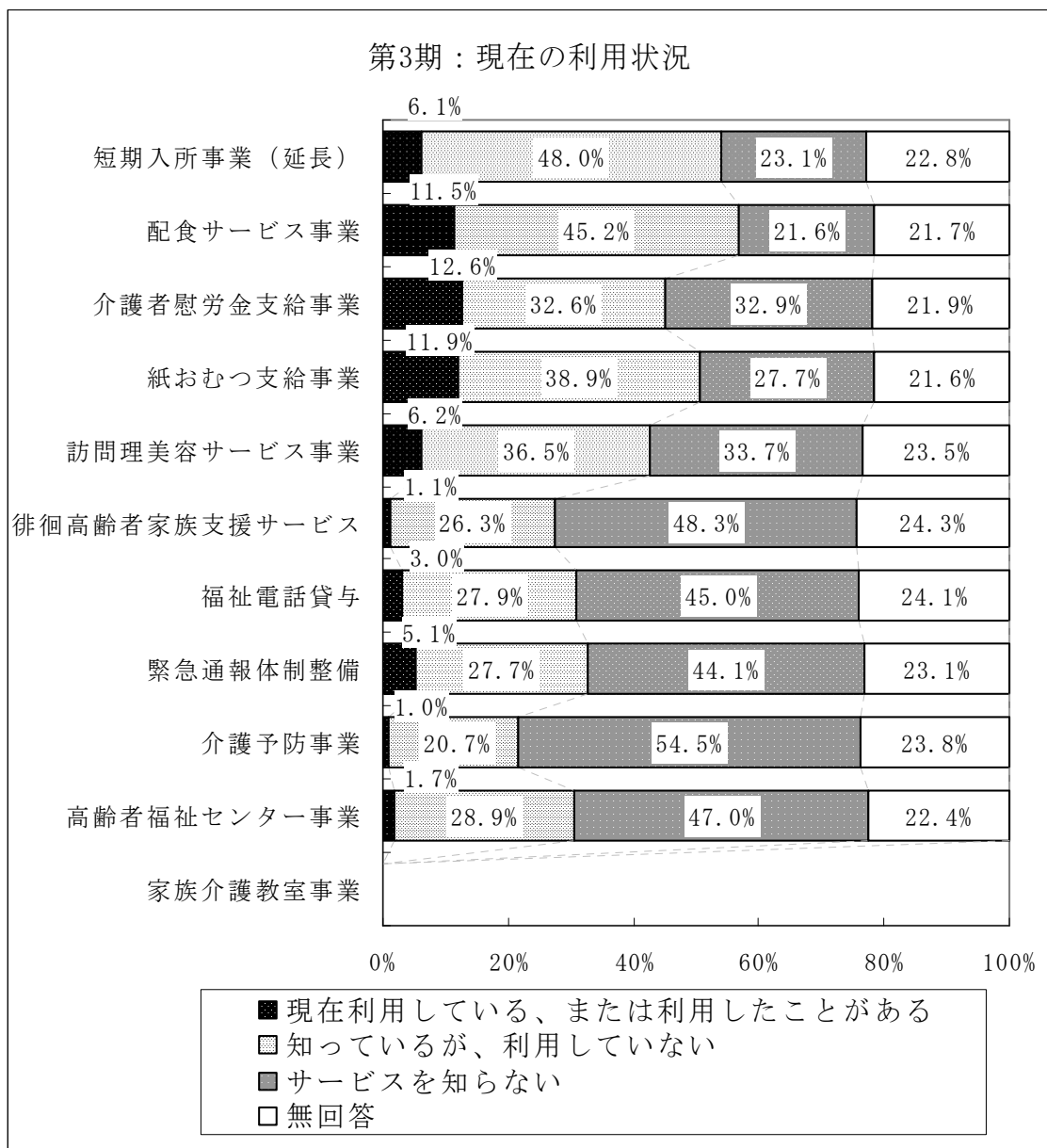
介護予防サービスを現在「利用している」と答えた方に、利用した介護予防サービスの内容についての満足度をたずねると、「おおむね満足している」56.8%、「たいへん満足している」33.0%と満足している方が約 9 割となっています。



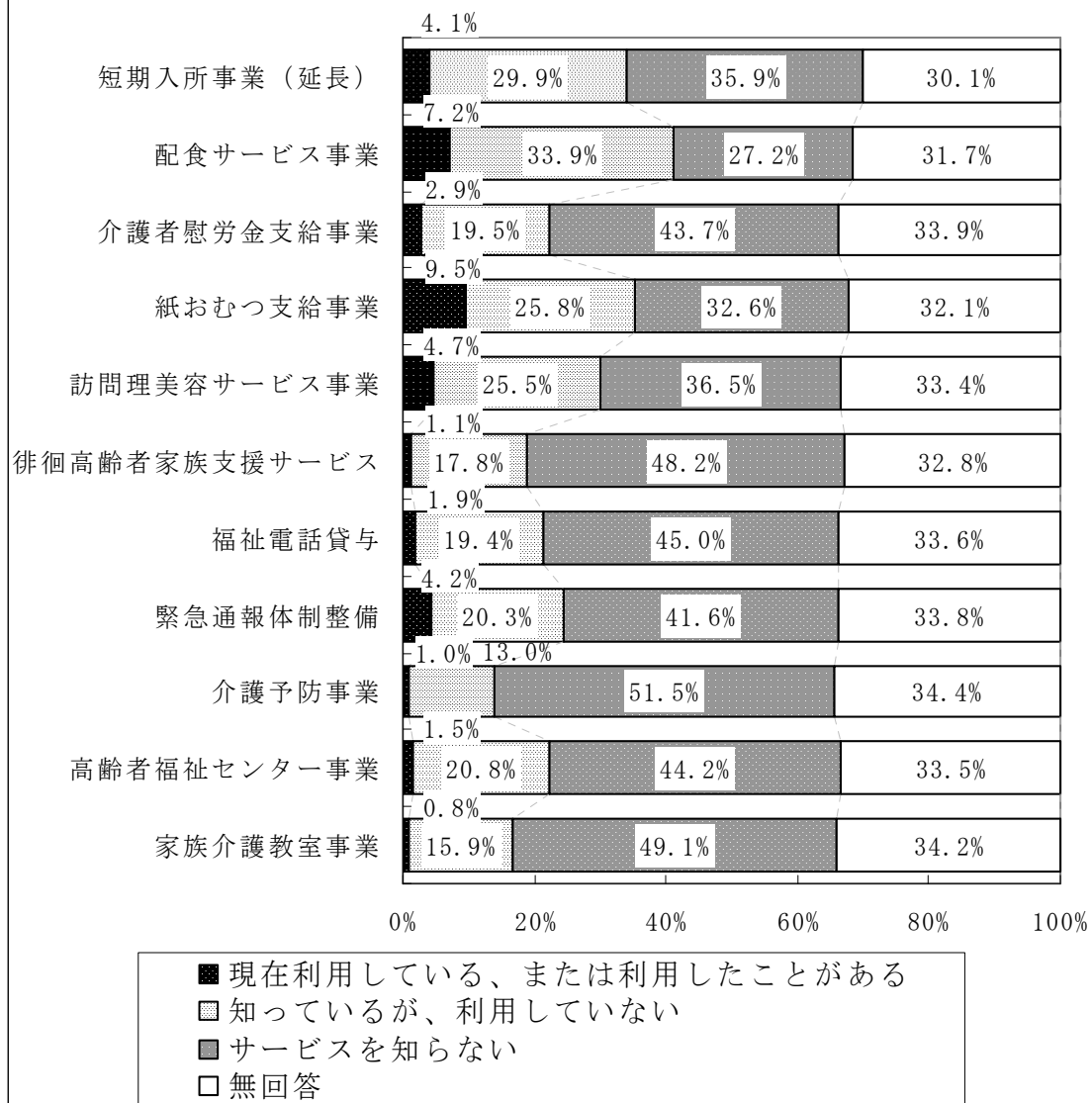
【福祉サービスについて】

・ 現在の利用について

福祉サービスについて現在(この1年程度)の利用状況をみると、第3期から第4期にかけて全体的に「現在利用している、または利用したことがある」と答えた方が減っています。特に「介護慰労金支給事業」については1割も減っており、逆に「サービスを知らない」と答えた方は増えています。

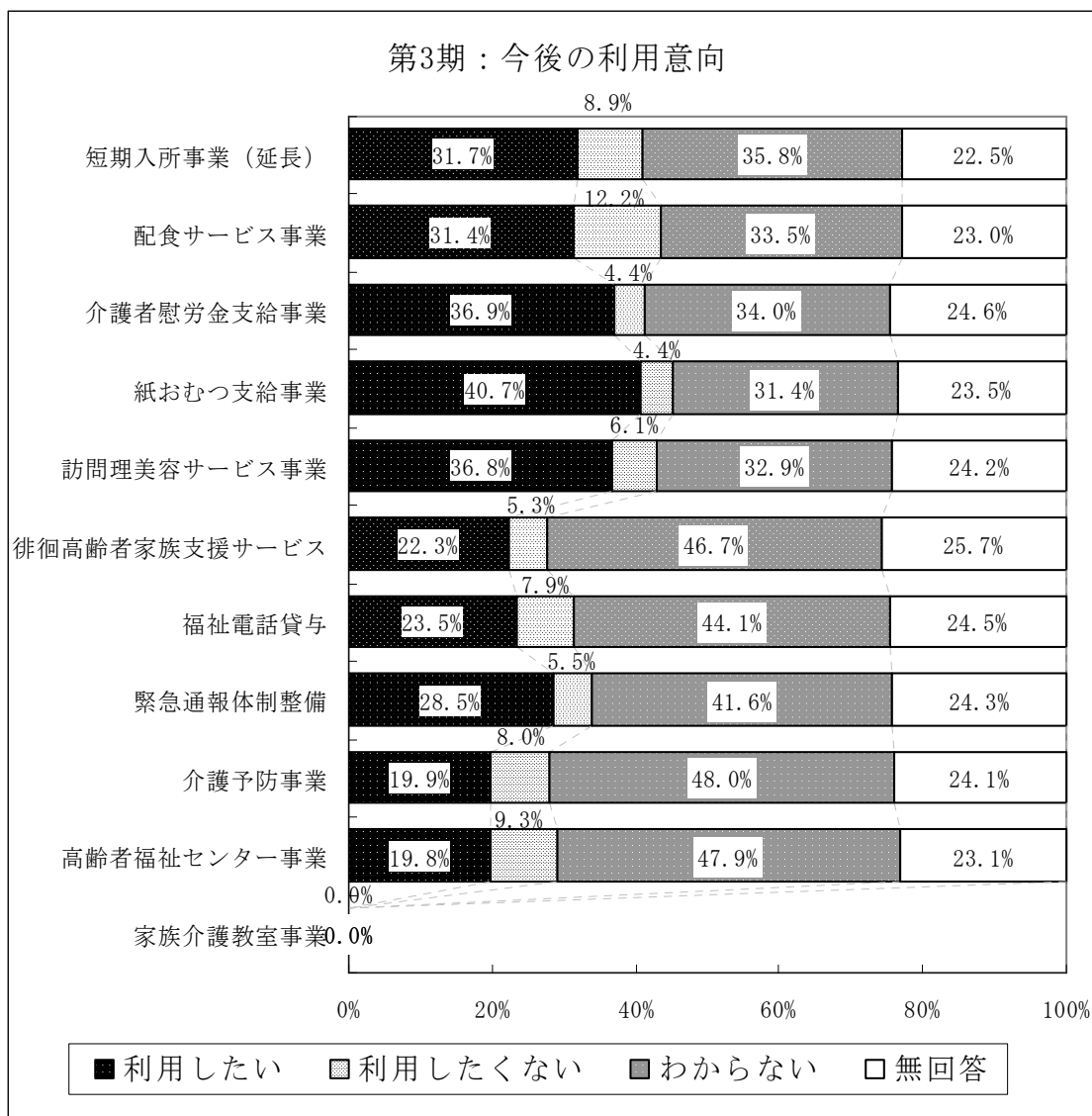


第4期：現在の利用状況

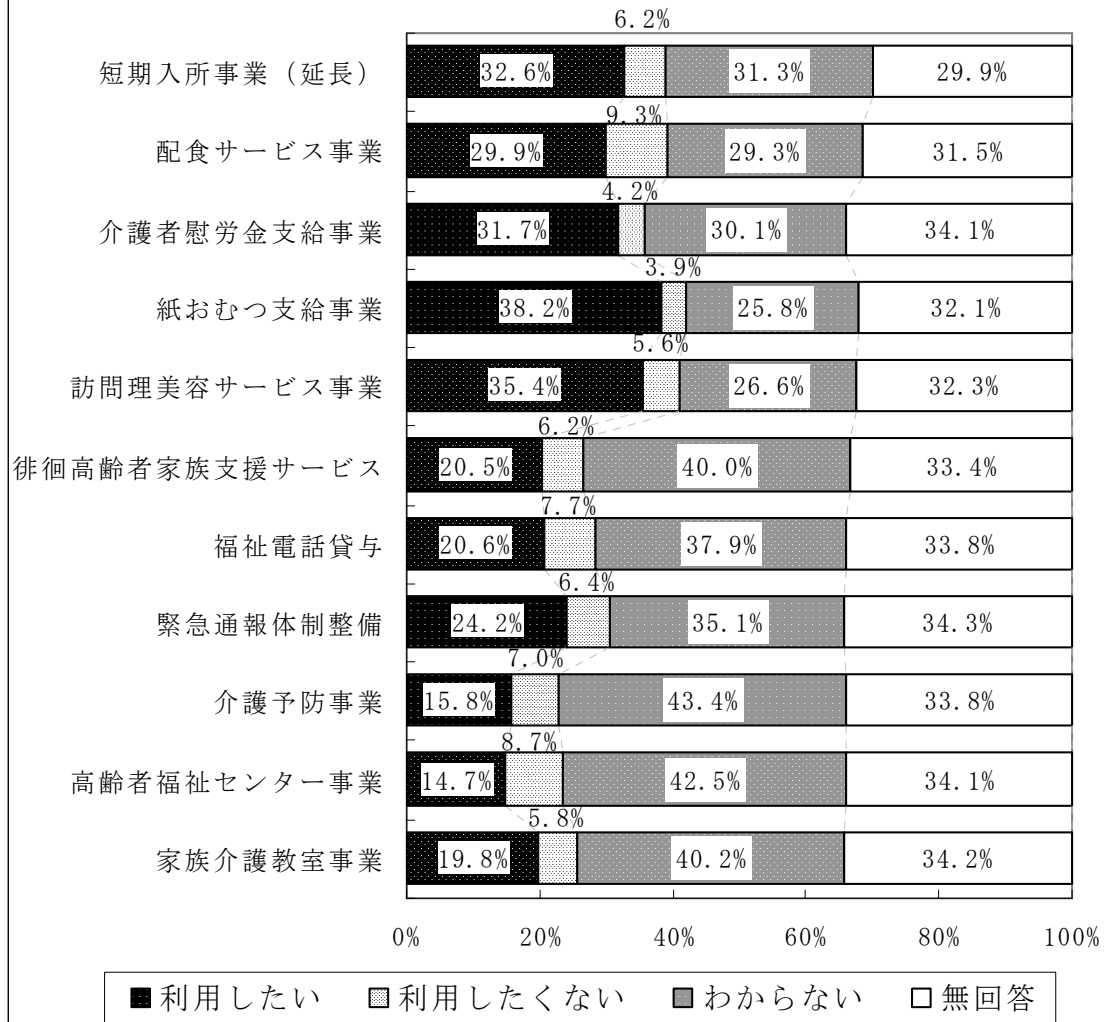


・ 今後の利用意向について

福祉サービスについて今後の利用意向をみると、第3期から第4期にかけて全体的に大きな変化は見られないが、「短期入所事業(延長)」のみ「利用したい」と答えた方が多くなっています。

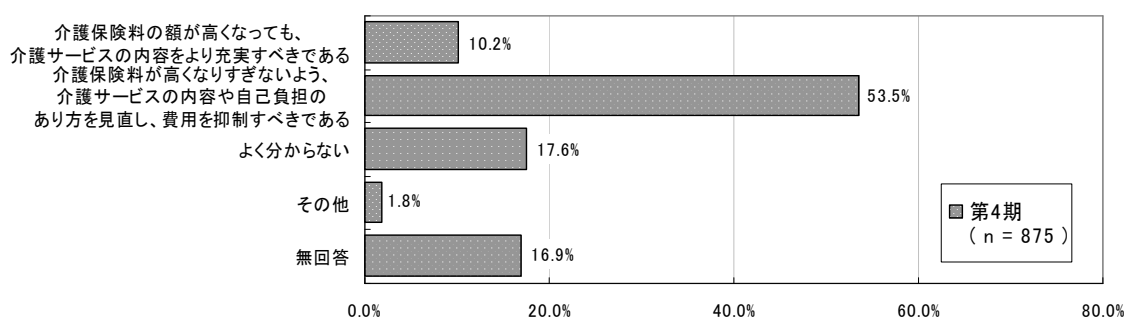


第4期：今後の利用意向



【介護保険のあり方について】

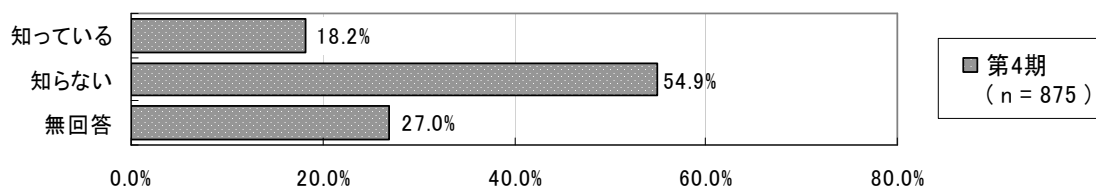
高齢者が安心して暮らせるための介護保険制度ですが、今後、施設を整備したり、介護サービスを利用する人が増えたり、サービスの内容をより充実させたりすると、介護保険料の額が高くなる仕組みになっており、このことについて介護保険のあり方をたずねると、「介護保険料が高くなりすぎないように、介護サービスの内容や自己負担のあり方を見直し、費用を抑制すべきである」と答えた方が最も多く過半数を超えています。次いで、「よく分からない」17.6%、「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」10.2%の順となっています。



※第3期の調査項目にはない。

【地域包括支援センターの認知度】

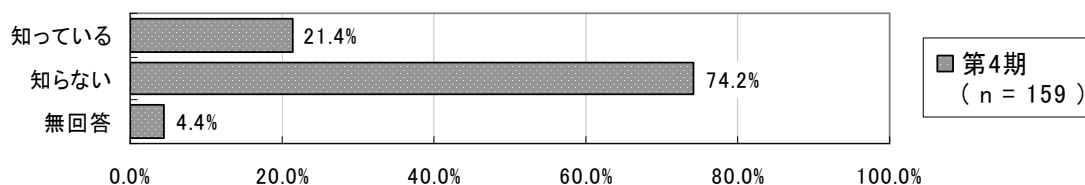
平成 18 年度より、市役所内に設置されている高齢者の保健・福祉・医療の向上のために必要な援助を行ったり、相談に応じる地域包括支援センターを知っているかたずねると、「知らない」と答えた方が過半数を超えており、周知を図る必要が見受けられます。



※地域包括支援センターの運営は平成 18 年度からのため第 3 期の調査項目にはありません。

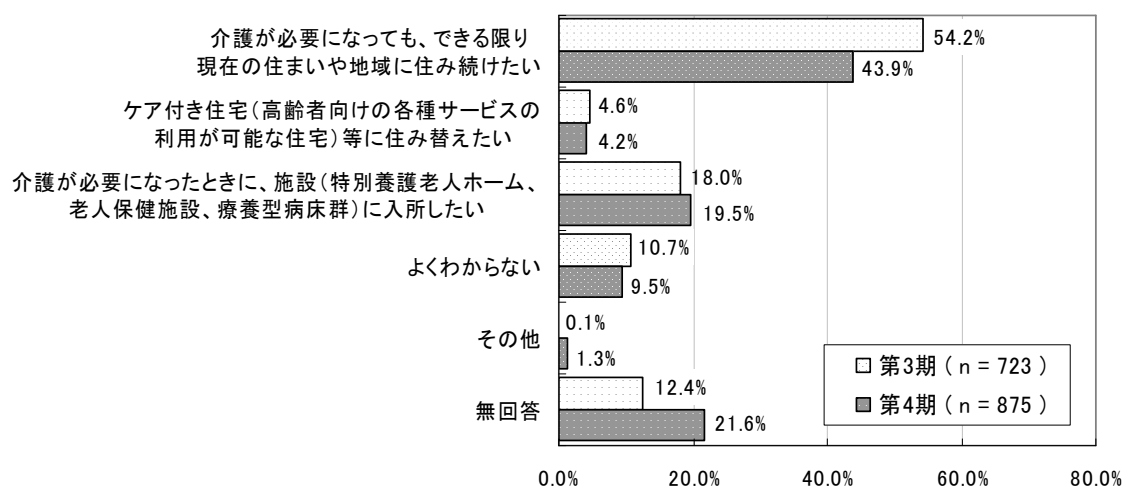
【ランチの認知度】

地域包括支援センターを「知っている」と答えた方に、地域における相談窓口として近くの協力機関(ランチ)があることを知っているかたずねると、「知らない」と答えた方が 7 割を超えており、地域包括支援センターと同様に周知を図る必要が見受けられます。



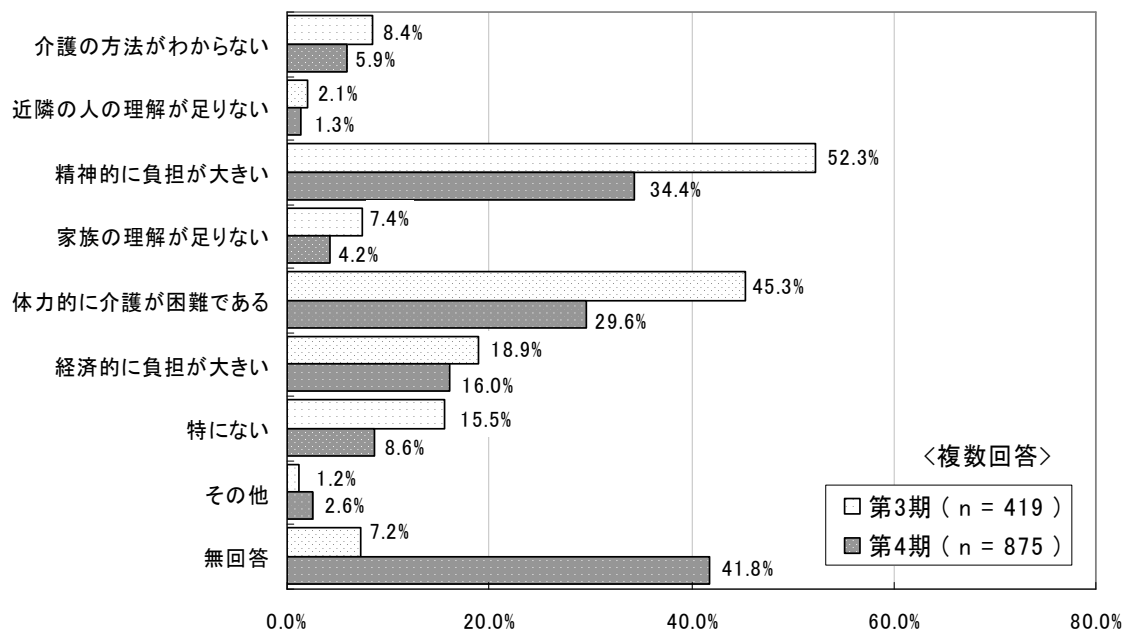
【将来の住まいと介護サービスの利用について】

将来の住まいと介護サービスの利用についての考えをたずねると、第3期・第4期ともに「介護が必要になっても、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」と答えた方が最も多くなっています。次いで、「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設、療養型病床群）に入所したい」「わからない」の順となっており施設入所を希望する方が増えていることがわかります。



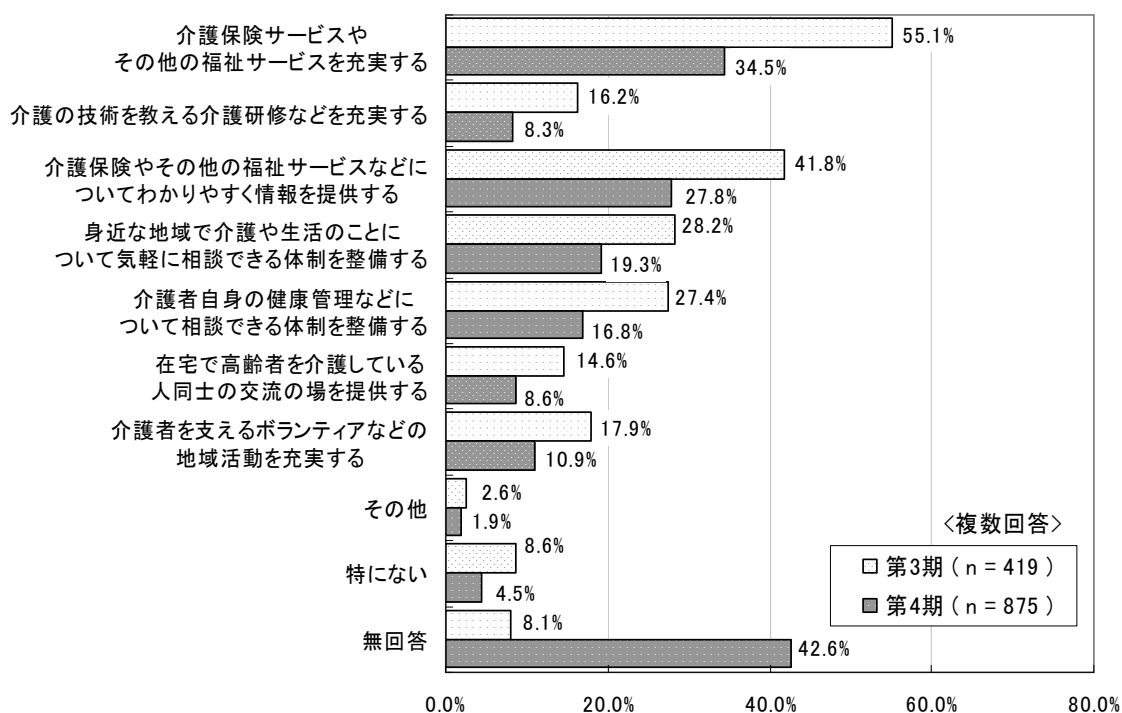
【介護を行う上で困っていること】

介護者の方に、介護を行う上で困っていることをたずねると、第3期・第4期ともに「精神的に負担が大きい」と答えた方が最も多く、次いで「体力的に介護が困難である」「経済的に負担が大きい」の順となっています。



【在宅介護を続けるために介護者に必要な支援】

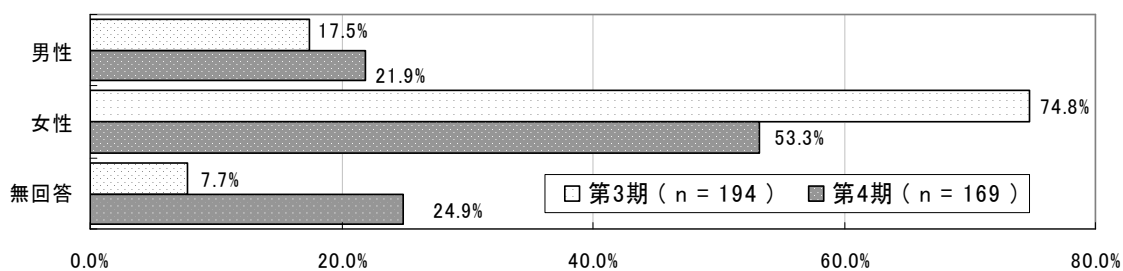
今後も在宅介護を続けていくためには、介護者に対して必要な支援をたずねると、第3期・第4期ともに「介護保険サービスやその他の福祉サービスを充実する」と答えた方が最も多くなっています。次いで、「介護保険やその他の福祉サービスなどについてわかりやすく情報を提供する」「身近な地域で介護や生活のことについて気軽に相談できる体制を整備する」の順となっています。



要介護認定者実態調査（施設用）

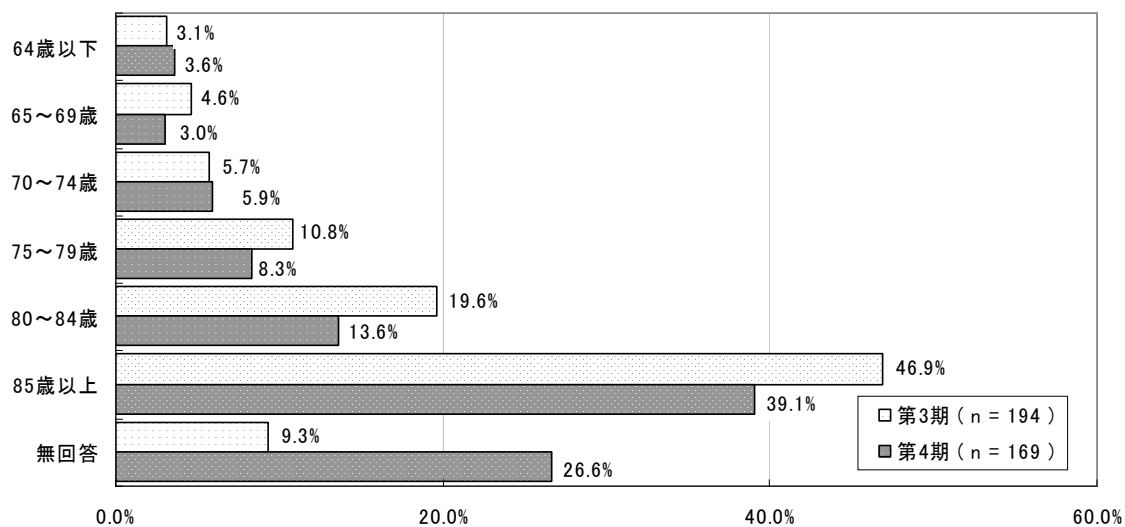
【性別】

調査対象者の性別をみると、第3期は「女性」74.8%、「男性」17.5%、第4期は「女性」53.3%、「男性」21.9%となっています。



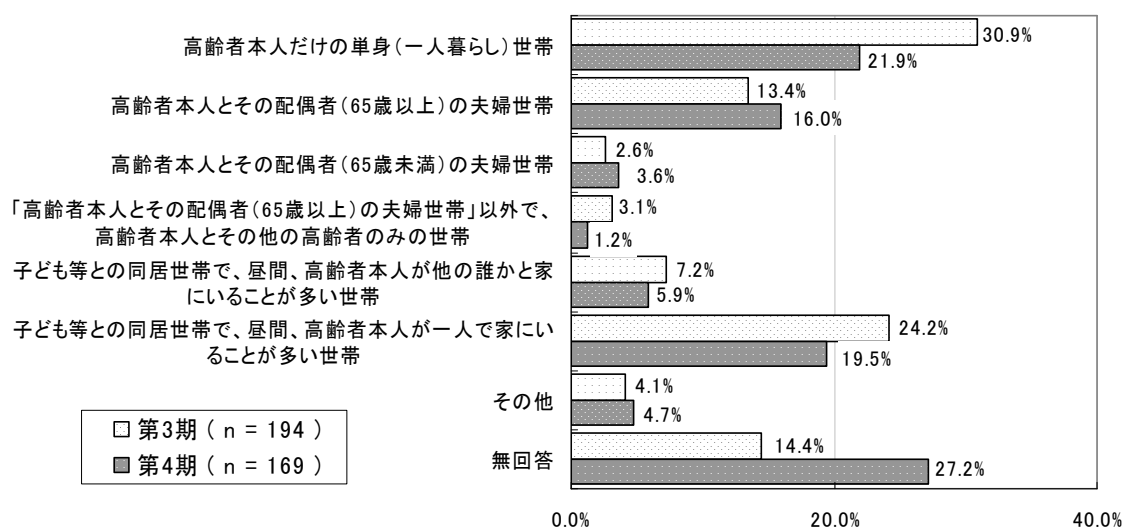
【年齢】

調査対象者の年齢をみると、第3期・第4期ともに「85歳以上」と答えた方が最も多くなっています。次いで、「80～84歳」「75～79歳」の順となっています。



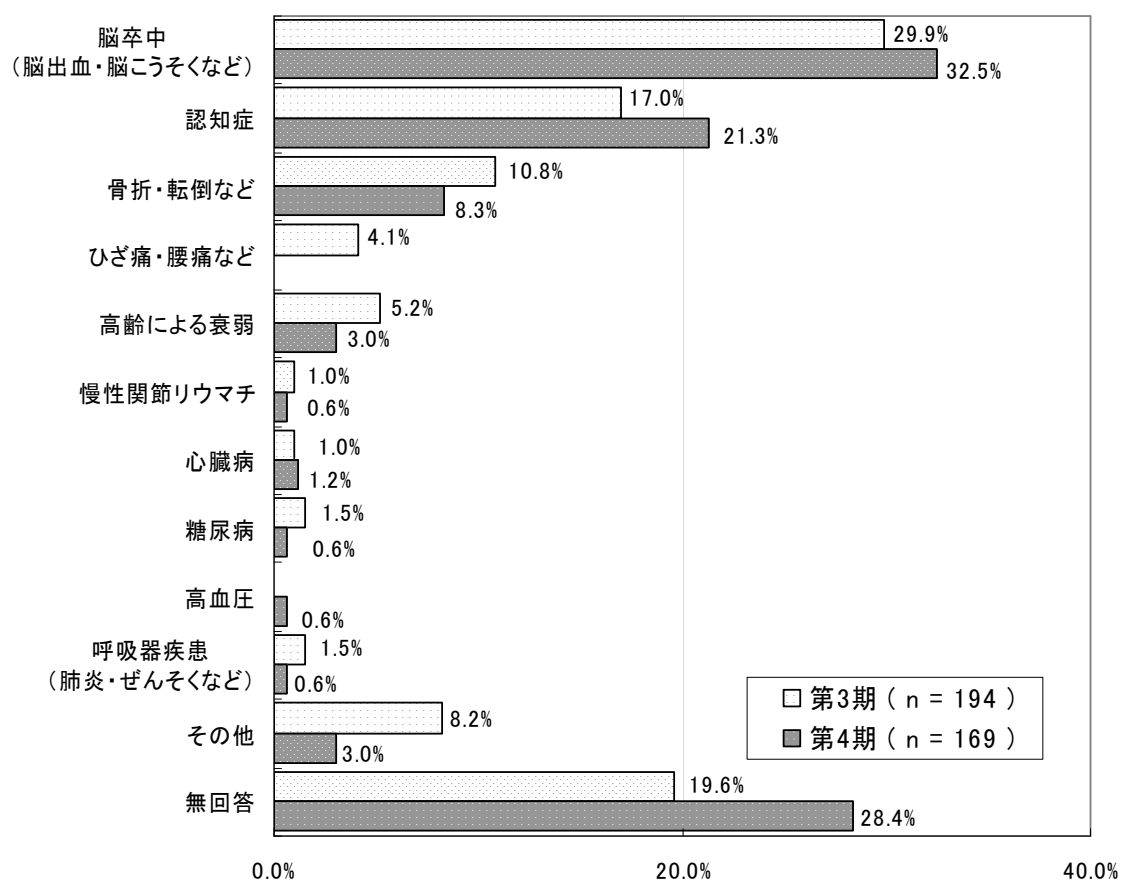
【家族構成】

家族構成をみると、第3期・第4期ともに「高齢者本人だけの単身(一人暮らし)世帯」と答えた方が最も多く、次いで、「子ども等との同居世帯で、昼間、高齢者本人が一人で家にいることが多い世帯」「高齢者とその配偶者(65歳以上)の夫婦世帯」の順となっています。第3期と比べると「高齢者本人とその配偶者(65歳以上)の夫婦世帯」「高齢者本人とその配偶者(65歳未満)の夫婦世帯」と答えた方が増えていることがわかります。



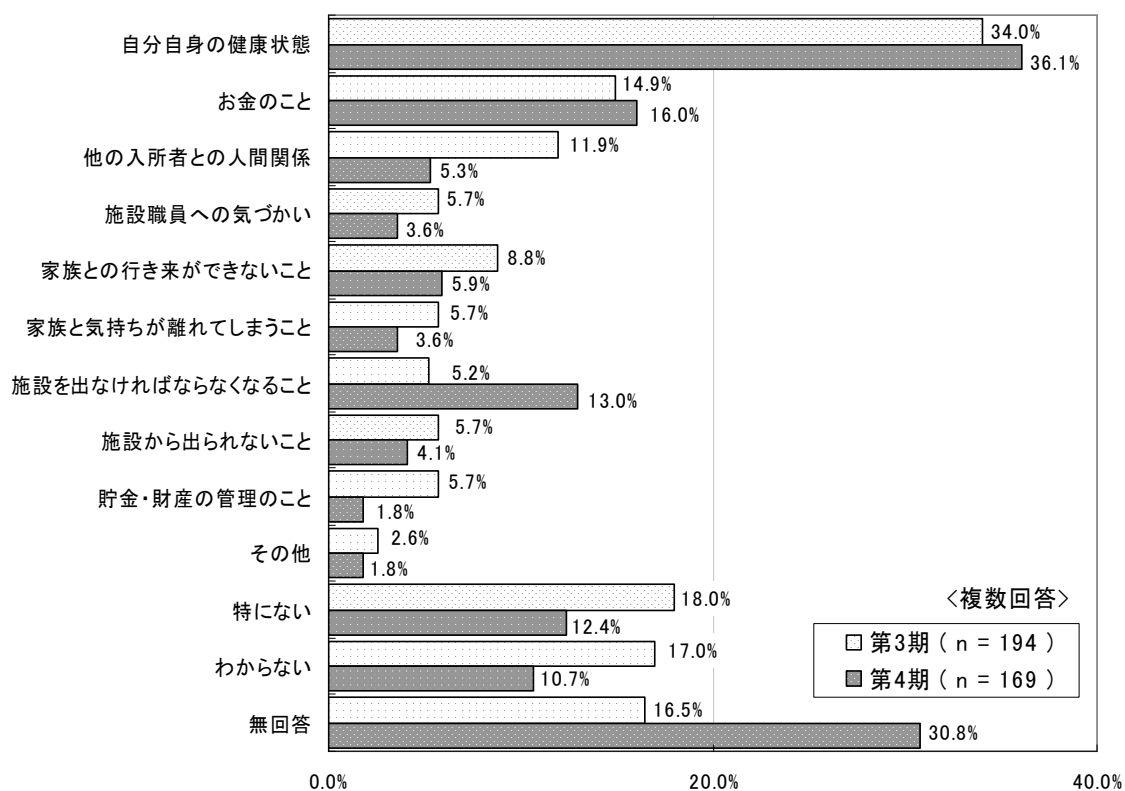
【介護が必要になった主な原因】

介護が必要になった主な原因をたずねると、第3期・第4期ともに「脳卒中(脳出血・脳こうそくなど)」と答えた方が最も多くなっており、次いで「認知症」「骨折・転倒など」の順となっています。第3期と比べると「脳卒中(脳出血・脳こうそくなど)」「認知症」と答えた方が多くなっていることがわかります。



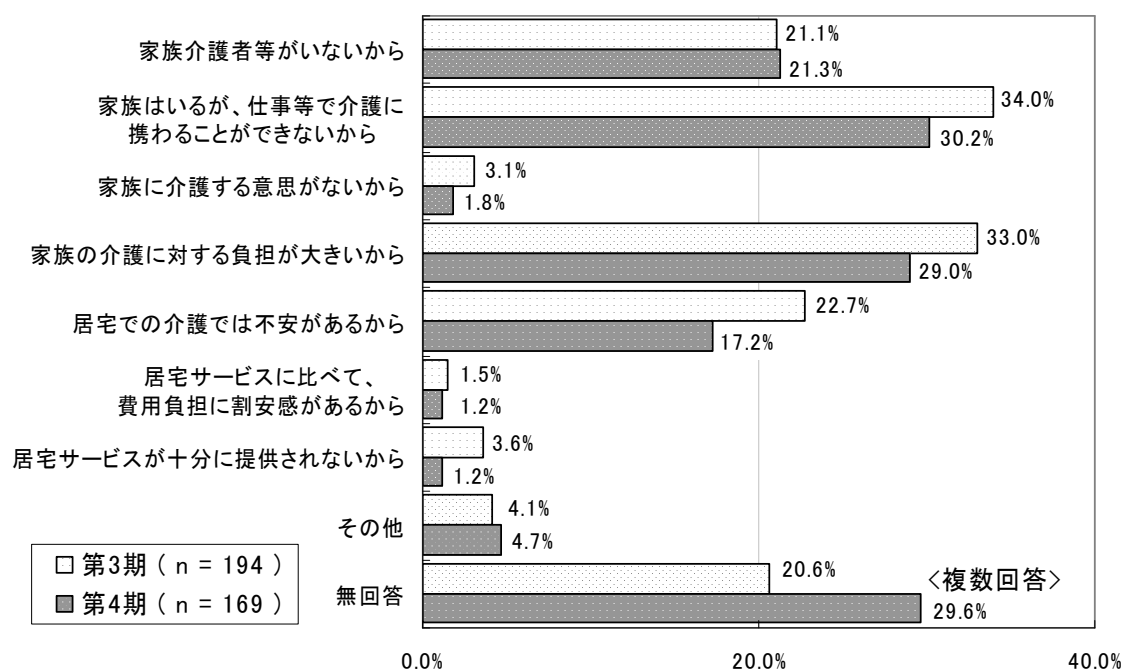
【日常生活の不安について】

日常生活全般を通して不安に感じていることについてたずねると、第3期・第4期ともに「自分自身の健康状態」と答えた方が最も多くなっています。次いで、第3期は「お金のこと」14.9%、「他の入所者との人間関係」11.9%の順となっています。第4期は「お金のこと」16.0%、「施設を出なければならなくなること」13.0%の順となっており、「施設を出なければならなくなること」と答えた方が第3期と比べると2倍以上多くなっていることがわかります。



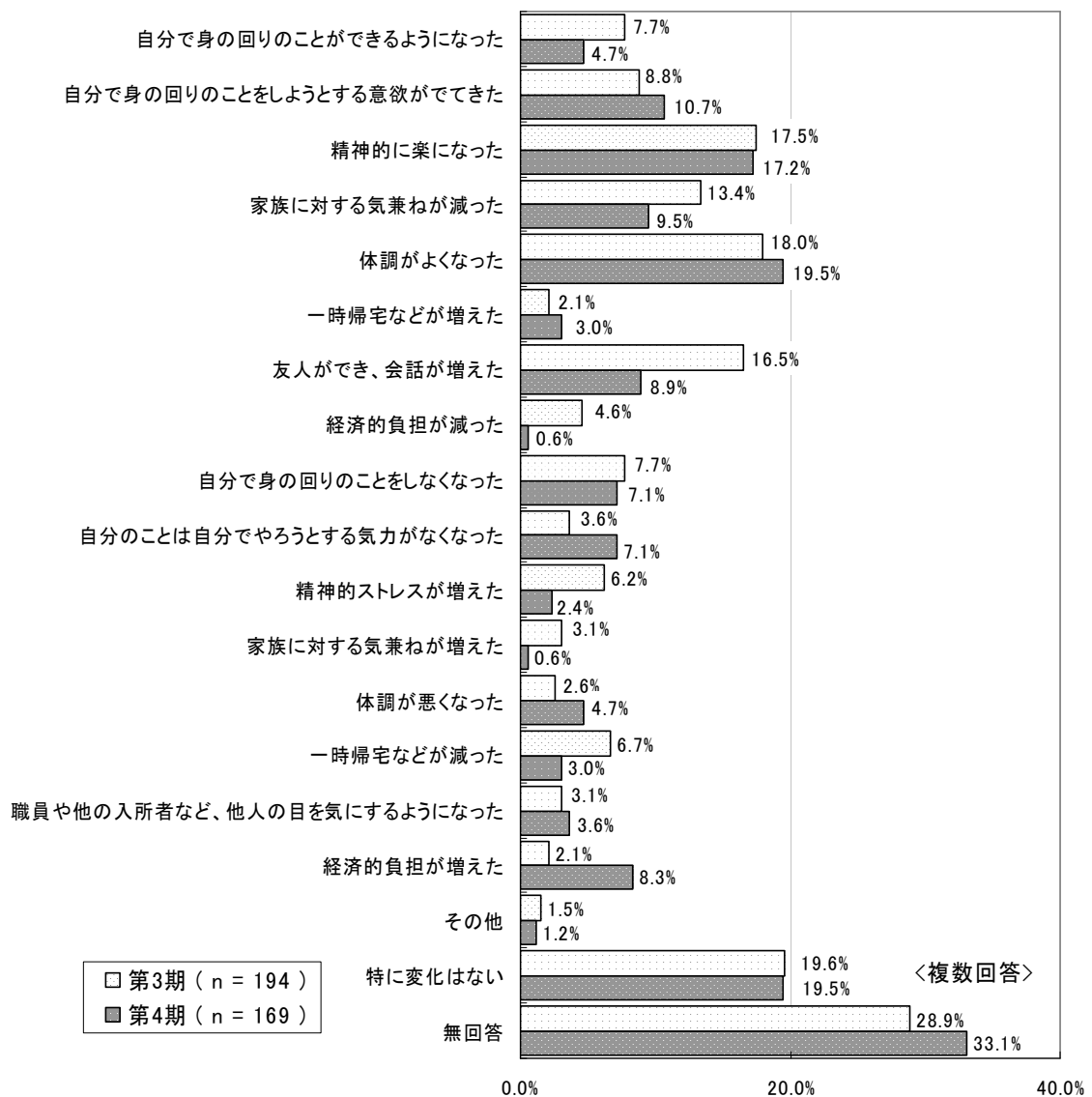
【施設入所を希望した理由】

施設入所を希望した理由をたずねると、第3期・第4期ともに「家族はいるが、仕事等で介護に携わることができないから」「家族の介護に対する負担が大きいから」と答えた方が約3割と多くなっています。次いで、第3期では「居宅での介護では不安があるから」、第4期では「家族介護者等がないから」の順となっており、家族に負担をかけないように施設へ入所する方が多い傾向が見受けられます。



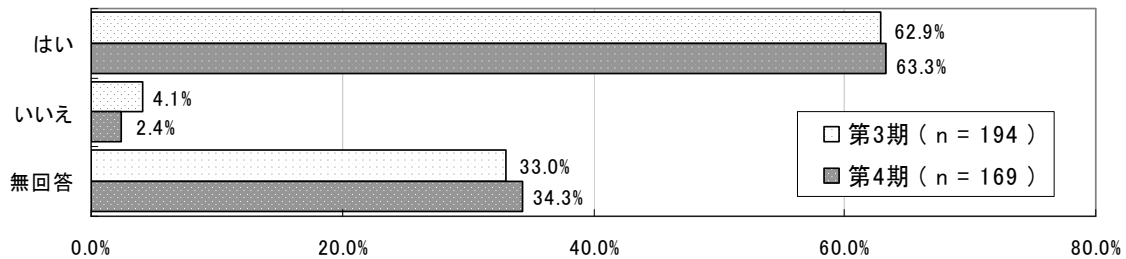
【施設を利用して変化したことについて】

施設を利用して生活で変化したことをたずねると、第3期・第4期ともに「体調がよくなった」「精神的に楽になった」と答えた方が多くなっています。次いで、第3期は「友人ができ、会話が增进了」、第4期は「自分で身の回りのことをしようとする意欲がでてきた」の順となっています。第3期と比べると「自分のことは自分でやろうとする気力がなくなった」「体調が悪くなった」「経済的負担が増えた」と答えた方が多くなっています。



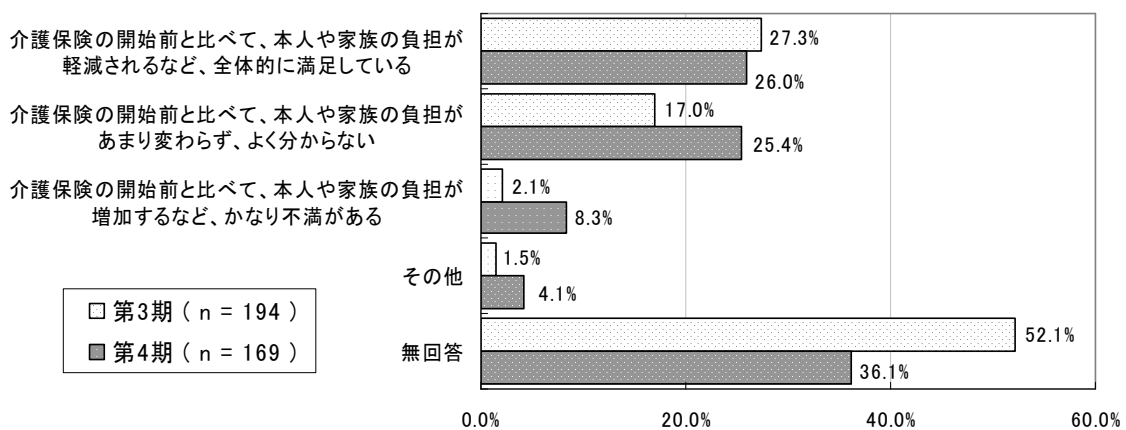
【施設サービスの満足度】

利用している施設サービスの内容に満足しているかたずねると、「はい」と答えた方が 6 割を超えており、第 3 期と比べると同様に満足していることがわかります。



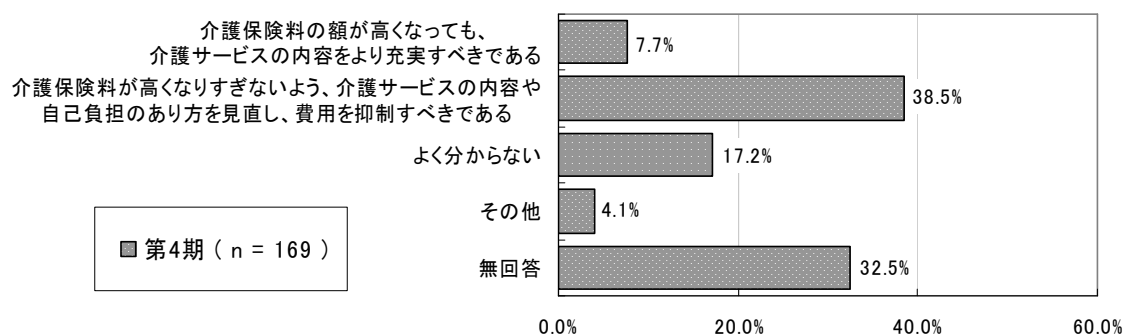
【介護保険に対する満足度】

介護保険に対する満足度をたずねると、第 3 期・第 4 期ともに「介護保険開始前と比べて、本人や家族の負担が軽減されるなど、全体的に満足している」と答えた方が最も多くなっており、次いで、「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担があまり変わらず、よく分からない」の順となっています。第 3 期と比べると「介護保険の開始前と比べて、本人や家族の負担が増加するなど、かなり不満がある」と答えた方が約 4 倍となっており、介護保険に対する不満が多くなっていることがわかります。



【介護保険のあり方について】

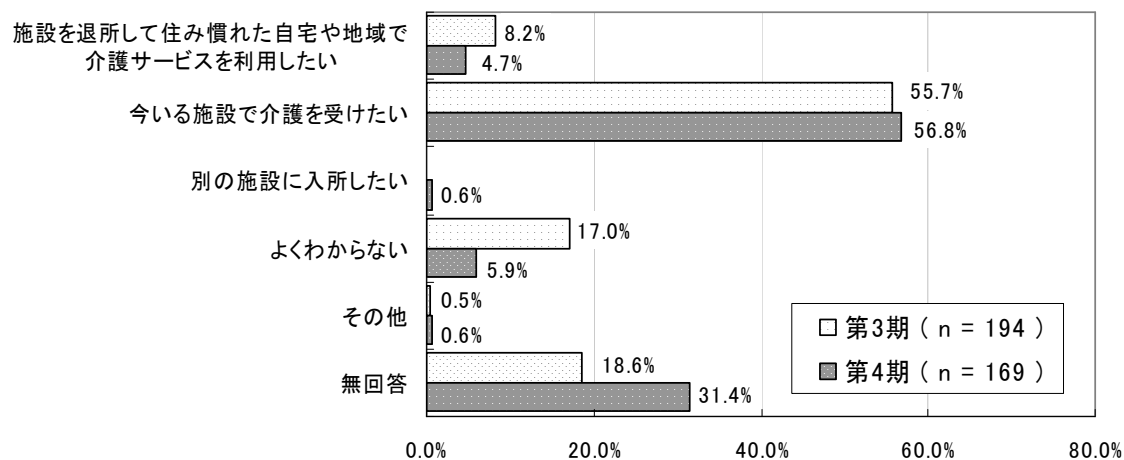
高齢者が安心して暮らせるための介護保険制度ですが、今後、施設を整備したり、介護サービスを利用する人が増えたり、サービスの内容をより充実させたりすると、介護保険料の額が高くなる仕組みになっており、このことについて介護保険のあり方をたずねると、「介護保険料が高くなりすぎないように、介護サービスの内容や自己負担のあり方を見直し、費用を抑制すべきである」38.5%と答えた方が最も多くなっています。次いで、「よく分からない」17.2%、「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」7.7%の順となっています。



※第3期の調査項目にはない。

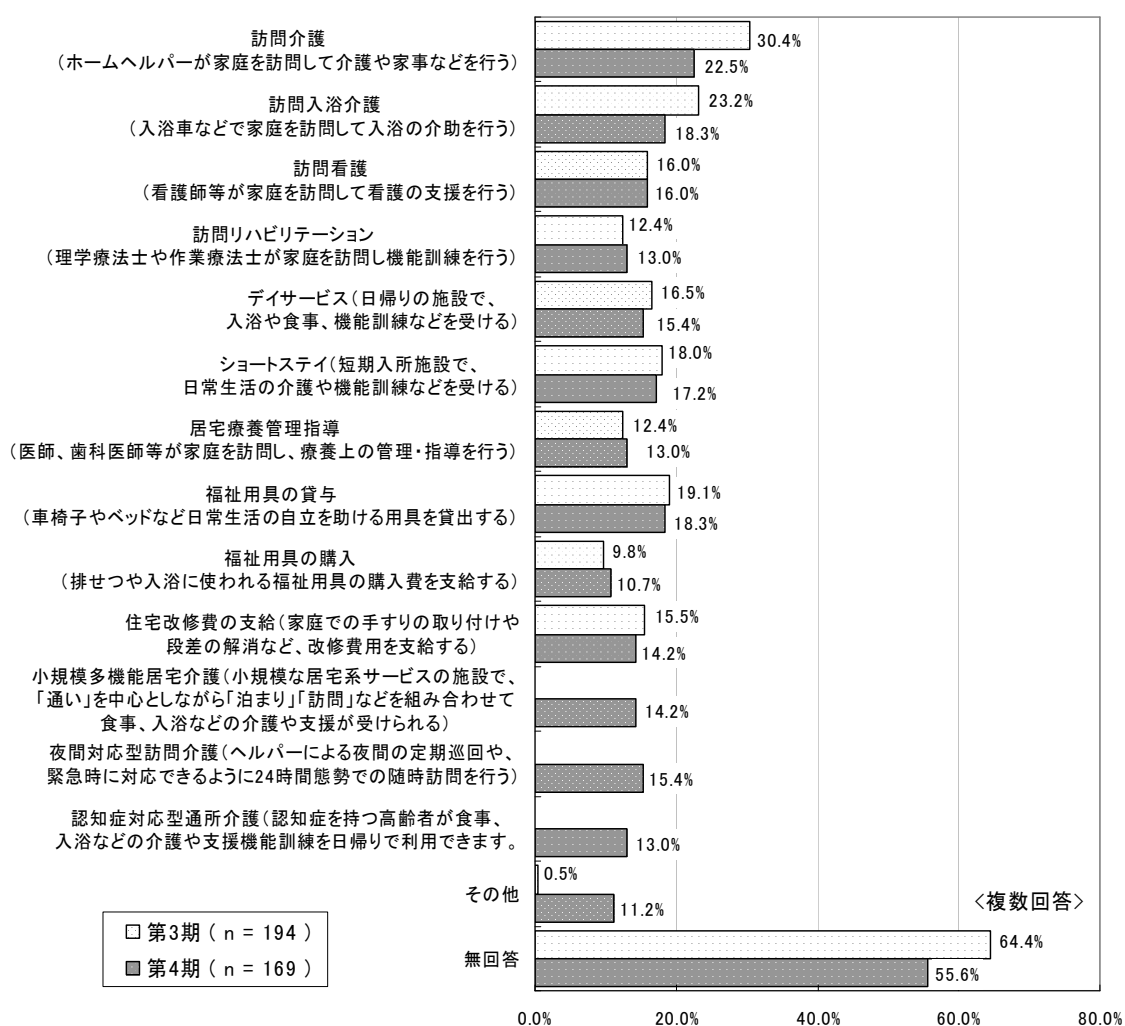
【将来の住まいと介護サービスの利用について】

将来の住まいと介護サービスの利用についての考えをたずねると、第3期・第4期ともに「今いる施設で介護を受けたい」と答えた方が最も多くなっており過半数を超えています。次いで、「よくわからない」「施設を退所して住み慣れた自宅や地域で介護サービスを利用したい」の順となっています。



【居宅生活をするために充実してほしい居宅サービス】

居宅生活をするために充実してほしい居宅サービスをたずねると、第3期・第4期ともに「訪問介護（ホームヘルパーが家庭を訪問して介護や家事などを行う）」が最も多くなっており、次いで、「訪問入浴介護（入浴車などで家庭を訪問して入浴の介助を行う）」「福祉用具の貸与（車椅子やベッドなど日常生活の自立を助ける用具を貸出する）」の順となっています。第3期と比べると「訪問介護（ホームヘルパーが家庭を訪問して介護や家事などを行う）」と答えた方が少なくなっていることがわかります。



※ 「小規模多機能居宅介護」「夜間対応型訪問介護」「認知症対応型通所介護」の項目は第4期の調査のみ。

介護保険サービス提供事業者調査

【今後、新規展開したい介護サービス】

今後、新居浜市において、新規に展開したい(新規に事業実施に取り組みたい)と考えている介護サービスをたずねると、「認知症対応型共同生活介護」13.1%が最も多くなっています。次いで、「認知症対応型通所介護」11.5%、「通所介護」9.8%の順となっています。

